

1. 件名：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構高速実験炉原子炉施設の設置変更許可申請（RI 生産用実験装置の追加等）に係る事業者ヒアリング（1）及び保安規定変更認可申請に係る事業者ヒアリング（13）
2. 日時：令和6年2月20日（火）16：00～18：25
3. 場所：原子力規制庁10階南会議室  
※本ヒアリングは、テレビ会議システムで実施
4. 出席者  
原子力規制庁  
原子力規制部  
審査グループ 研究炉等審査部門  
荒川安全管理調査官、有吉上席安全審査官、伊藤主任安全審査官、小舞管理官補佐、荒井安全審査専門職、加藤試験炉係長、安澤技術参与  
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構  
安全・核セキュリティ統括本部 安全管理部 主査 他1名  
大洗研究所 高速実験炉部 次長 他7名
5. 自動文字起こし結果  
別紙のとおり  
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
6. 配布資料  
資料1：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構大洗研究所（南地区）高速実験炉原子炉施設（「常陽」）の原子炉設置変更許可申請の概要（使用目的の追加及びRI 生産用実験装置の追加等）  
資料2：国立研究開発法人日本原子力研究開発機構大洗研究所（南地区）高速実験炉原子炉施設（「常陽」）計測線付実験装置（MARICO-2）の変形により生じたルースパーツの影響評価及び今後の対応について

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	原子力規制庁、2月20日のヒアリングを開始いたします。本日は、技術発に関する影響評価の、
0:00:11	私大田節、申請いただきました所の設置変更許可申請のRI精査に関するものです。ねこちらの資料についてご説明いただく予定となっております。
0:00:20	それではまず、ルースパーツの方からですね、説明お願いいたします。
0:00:25	はいご質問等でございますそれでJRの17日に基づきまして吉川さんのまとめ資料、技術資料についてご説明をさせていただきます。1枚めくっていただきまして1ページに目次を示してございます。
0:00:38	こちらはこれまでの審査会合でご説明をさせていただいた内容と、あとは09年の法令報告の内容。
0:00:48	その両方の内容合わせまして、このルースパーツに関する影響評価と今後の対応について、まとめたものになってます。個別の内容についてはこれまでの審査会合等で説明をさせていただいてきた内容ですけれども、
0:01:05	構成といたしましてはこの目次にあります通り、はじめにのところで、これまでののはしVⅡの不具合の事象の経緯と今回、令和5年度の審査会合における審査の経緯、
0:01:18	その課題観察結果ではこれはこれ報告の前の炉内観察結果についての記載、3ページの復旧対策については審査会合でも、
0:01:28	新城機構の交換の際、それから、のですね炉内の観察ですとか、コマイ交通資料分の撤去自体が、マルスパーツの提供であるということについてもご説明をさせていただいてますので、
0:01:42	少し3交通復旧対策についての説明を記載しています。四番目の内容のところが一つでございます。こちら観察結果に基づくルースパーツの影響評価を書いてございます。
0:01:53	4.1は209年までのと同じ仮説に基づく影響評価結果ですので、こちらについては、2009年の法令報告における影響評価の結果をそのまま記載をしています。
0:02:05	4.20それ以降の、令和5年度の審査会合において案ご説明をさせていただいて最終的に結論として、埋没資料撤去後の観察結果に基づく、
0:02:15	発案した固定品の形状特定しない影響評価のチャートを4点一つような形で4.2項を設けまして一通り説明をしています。
0:02:26	こちらは基本的な考え方ですとか復旧対策後の観察結果、それに基づく視覚の設定流動強度評価手法での影響評価、4.2.6円最後にこのルースパーツが、
0:02:37	安全機能に及ぼす影響の評価を書いております。5月再発防止対策で6ポツがプロスポーツ発生時の対応これ2月の審査会合で説明させていただきました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:47	けれどもその内容を6月リスク発生時の対応で記載をしています。7ページは今後の対応でこちらがもう一つの大きな内容の部分でございまして7ポツ1が保安規定等の改定についてです。
0:03:00	なぜ1.1から7.1.4までがそれぞれの条文に関する変更案を書いてございまして7.1.5で運転による旧記載にしています。
0:03:09	7.0SPARTの探索になります。古里の対策のうち7.2.1は、法令報告までのレスポンスの観測に関する内容を書いてございまして、7.2.2が、今回審査会合でいろいろご説明させていただいた検討の整理それから、今後どのような、
0:03:26	観測を行っていくかというところを説明願います。なのでサンダルSPARTに関する予測値の開発、こちらについても、今後も継続的に長期的継続的に取り組んでいくということを審査会合でご説明しておりますので、
0:03:40	それに関する要素技術の開発の方主要な点3で記載しております。
0:03:44	連携者の別紙ですけれども、別紙の1から6については、今申し上げたような、本文のストーリー、シナリオに必ずしも一致しないものですか、あとはそれを取り込むことによって、内容が冗長になると。
0:03:59	というような、例えば別紙3の燃料集合体の熱的影響の評価ですとか、こういったものについては設置変更許可申請書の添付書類10に書かれている。
0:04:10	ないようですので、あえてもう一度ここに再掲せず、これ、こういったものについては別紙にいたしました。
0:04:15	そういった構成にしております。
0:04:19	それでは内容について少し、
0:04:22	割愛しながら、ご紹介をさせていただき、いただいてよろしいでしょうか。すみません。まず1、3ページをご覧ください。3ページにつきまして1ポツ元2に事象の概要を書いております。
0:04:34	第一段落から最後の段落の手前までですね、これ報告に書いておりました事象の発生。
0:04:42	についての説明になります。
0:04:44	プロスポーツに関するこれまでの対応の経緯を表1-1に示すというふうに書いてございますけれどもこの部分以降が、観賞復旧対策のですね。
0:04:55	ですから、対策も合わせた今回令和5年度の審査会合も含めた内容になっております。それが今日自体は資料の方についてございまして、
0:05:07	ページでいきますと、ページ57ページになります。この表は審査会合で説明して参った事象の発生から、干渉物の復旧対策、それから復旧対策後の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:20	観察等も含めた内容の経緯ですので、これルースパーツ完成に関する一連の経緯として、表 1-1 に書いております。もう一度 3 ページに戻っていただきまして、
0:05:33	今申し上げたようなところを 1 ポツの最後のはじめにの最後の段落に書いてございましてこの資料については、コマイこつ主力のケア収納に発生したルースパーツへの対応について、
0:05:45	こういった先ほどの表の経緯を示した発生時から、法令報告の実施復旧対策の実施復旧対策完了後の資料の観察結果並びにこれらに基づく、
0:05:55	破損した固定金の計上特定しないと SPART の影響評価及び今後の対応についてまとめたものであると。
0:06:00	いうことを書いております。一つは炉内観察結果ですが、これは法令報告の炉内観察の内容をそのまま転記したものになります。
0:06:09	5 ページに進んでいただきまして、3 月の復旧対策です。こちらは先ほど申し上げたような経緯がありますので、3.1 の炉心上部機構の交換それから 3.2-0 交通資料分の撤去、
0:06:22	それぞれについて簡単に概要を説明しております。
0:06:26	それから 6 ページに進んでいただきまして 6 ページの 4 ポツが、観察結果に基づくルースパーツの影響評価になります。4.1 は先ほども申し上げましたが、こちらは法令報告時の影響評価になります。5 分の。
0:06:40	経営評価を研究したという内容になります。この 4.1 の最後の 7 ページの最後の段落まとめ書いてますけれども、4.1 の法令報告の時点では集合体励起問題が生じないと。
0:06:53	いうことを確認したとしていたと、いうことを国に対しましてその観察結果を踏まえて、4.2 の評価を今回の審査会合でご説明をさせていただきますので、
0:07:04	基本的には今回の審査会合での影響評価結果についてを記載しております。ご覧の 2 月の会合で最後説明させていただいた内容が主な内容に、
0:07:17	なっております。まず 4.2 のリード文のところですが、こちらで非経緯として、復旧対策完了後に隣接する照射後試験施設において、
0:07:27	観察をしたと、その結果固定分については一部破損した状態であるスポーツになっている可能性があるかと。
0:07:33	ということが確認されたため、こういった破損品の想定破損した形状を、
0:07:39	特定しない、ルースパーツ影響評価を実施したというのを 4.2 のリード文のところに書いてございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:44	4.2. 1 がこの発案者固定品の形状特定shallスポーツ影響の基本的な考え方の基本的な考え方です。これの審査会合でご説明をさせていただき内容をそのままここに4.2. 1 項に提供したという内容になっております。
0:08:00	8 ページ進んでいただきまして、4.2. 2 が、復旧体制後の観察等の結果になりますこちら先ほど申し上げました、現在施設、
0:08:12	における観察結果財団の観察結果それがX線CT観察結果についてこちらの審査会合で説明をさせていただいた内容について、こちら4.2. に記載いたします。
0:08:22	4.2. 3 ドルスポーツの設定になります。このルースパーツの設定につきましても最後の2月の6日の審査会合におきまして丸スポーツ、製造守スポーツと旭の大中小と。
0:08:34	いうふうに分けて表カー検討を行うということ、それからそういったサイズ出るスポーツを設定すると、いうことを審査会合で説明させていただいておりますけれども。
0:08:44	その内容を4.2年3に記載をしております。9ページに進んでいただきまして、4.2. 40 スポーツの流動挙動の評価になります。最終的に、
0:08:57	そういった形状特定しない評価を行ってございますのでルースパーツの発生現象というものを対象にしてあらゆる影響を考慮した評価を行っておりますけれども。
0:09:07	12月の審査会合におきまして、
0:09:10	そのはその辺中以上のものについては、変質しないということ等を説明をさせていただいております。その内容については事実でございますので、この4.2. 4にそういった中以上のものについては、
0:09:22	提出しないということ、一応評価結果として書かせていただいております。
0:09:27	最後の一番最後の下から二つ目の段落のところローですけれどもここでは冷却炉心燃料に落下したとしても、燃料からは流速によって流れでしていった最終的には、
0:09:42	流動しないところに、沈降するということを書いています。最後のなお書きですけれども、この保存者5点の形状を特定しないとスポーツの影響を評価するため、
0:09:52	発電所については原子カアイリス7瞬間ポンプを経営して、原子炉容器の管理資料新燃料集合体レイク材料に流入することを想定すると、いうことでこのルースパーツの流動強度評価の、
0:10:04	議論としまして、波線中以上のものについては、原子炉から出ていかないという評価をしておりますけれども、最終的にはその編集長というものを想定して、前々日に減少営業でバンダイ内全域に、
0:10:17	プロスポーツが流入するということを想定したということが4.2. 4に書いてございます。4.2. 0 スポーツの炉心構成要素等への影響評価です。これは10月の会合で、それぞれの集合体の図、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:29	トレースパートのどこまで審議するかということ等、そういう、それからその影響について説明をさせていただいております。その内容について、この 4.2. 5 のスポーツの振興制度への影響評価は、
0:10:42	記載をしたというものになりますが内容については審査会合時と変わりませんのでちょっとせないようについては説明を割愛をさせていただきます。
0:10:50	4.2. 6 があるスポーツの影響の評価になります。こちらは 2 月の審査会合で、それぞれルースパーツのサイズごとに分類をして、
0:11:00	それぞれの分類でどのような影響を及ぼすかということを説明させていただいております。その内容について、もうこの 4.2. 6、11 ページから、
0:11:10	14 ページにわたって、それぞれ説明をしております。両括弧 1 では制御棒と制御棒案内管の 12 ページの上から 6 行目 7 行目辺りですけれども、これは制御棒と制御棒案内管の管理系の。
0:11:24	SPARTの流入による制御棒の駆動及びソフトウェアの側への影響として審査会合で説明した内容をこちらに書いてございます。13 ページの両括弧 2 では、瞬間北東の、
0:11:35	二次冷却系のルースパーツの流入による一次冷却材の流動の側への影響ということでこちら審査からご説明したこの以下の審査後で説明した内容。
0:11:45	14 ページの燃料集合体のルール閉塞についても 2 月 6 日の審査が後で説明した内容について記載をしております。これは最後の項の最後の結論ですけども、併給評価の結果を、
0:11:57	固定点破損祈るSPARTによる何らかの影響否定できないものの原子炉施設の安全機能を過度に阻害することはないと。
0:12:04	不稼動に将来する影響はないと評価をしたと、いうことをこのような結論として書いてございます。次 14 ページの真ん中の辺りに 5 ポツ再発防止対策を書いてございます。
0:12:14	これはルースパーツが発生した場合にどのような対応をとるかというのを、2 月 3 日の審査会合でフローで示させていただいておりますけれども、その中に再発防止対策を講じた上で運転再開をしていくと。
0:12:26	いうことを書いてございますので、この再発防止対策としては 56 分に書いている内容をもう一度ここに再掲したと、いうものになります。
0:12:34	次のページにいただいていただきまして 15 ページの 6 月にいる SPART 発生時の対応を書いてございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:41	これ、こちらが2月の審査会合でフローで説明をさせていただいた内容でございます、まあまあの内容、この文章で書いてございますけれども、内容としまして第6.1図になります。
0:12:53	ページ見ますと、50ページになります。
0:12:57	こちらを2月6日の審査会合で説明をさせていただいております、この内容について文書で書いたのは先ほど15ページの6ポツの本文と、いうことでございます。
0:13:07	続きまして15ページに戻っていただきます。7ポツの今後の対応になります。こちらについては2月の審査会合の内容とさらにその2月6日の審査会合で指摘をいただいた。
0:13:19	内容についての反映を行っております。
0:13:23	まずその
0:13:25	基本的な7ポツの最初のところのリード文としては基本的な考え方を書いてございまして、破産した後定検含め改正されたルースパーツによって、安全機能を過度に阻害し安全機能を
0:13:38	生じさせることはなく、検証して安全性が確保されるということを確認したという、いうことをまず最初に述べておりますけれども、ただし、原子力の安全を入念に確保するため、プロスポーツの存在を考慮した保安規定等に基づく、
0:13:51	運転管理保守管理ですとかその探索レスポンス発生時の対応に関する要素技術の開発に長期的継続的に取り組むと、これ最後の審査会合で表明をさせていただいたことを永淵のRIDMとして書かせていただいております。で、じゃあ具体的にどのような対応をしていくのかというような点、1項に書いてございます7.1が保安規定の改定になります。
0:14:09	下線で書いてる部分に変更箇所になります。こちら2月6日の審査会合で、駒井さんそれから杉山委員からですね、ルースパーツの対応であるということを確認すると。
0:14:23	いうことを、それからそういったルースパーツの心配を常にし続けることが重要であるというご指摘をいただいておりますので、7.1.1の保安規定の第97条の2の要領の作成におきまして本要領の作成にあたっては、
0:14:37	想定される内連携内部ツールSPARTへの対策とともにルースパーツへの対策であることを記載するということを記載しています。こうすることによって、将来的にですね。
0:14:50	どの、どの運転等が、運転保守員、上の従業員等がですね、そういった容量を見た時にも、その内容その対策があるスポーツ対策であると、ということが理解でき、さらにそういったあるスポーツへの心配を、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:03	我々自身継続していくことに繋がるというような内容をここで約束を規定をさせていただきたいというふうに考えております。
0:15:10	真鍋 1 点目は、
0:15:12	保安規定第 112 条の制御棒のスクラム時間等になります。こちらについては審査会合の説明から変更はございません。7.1. 3 が保安規定第 119 条。
0:15:23	17 ページですけれども、これ燃料破損建設設備の、119 条の文章になりますこちらについても審査会合から変更はございません。7.1. 4 の警報装置の作動等ですけれども、こちらの審査会合で、
0:15:35	の時点ではですね炉心燃料集合体出口影響ザイオン動向の 1 例しか別表第 44 に書かれてない、抜粋として書いてございませんでしたけれども、
0:15:46	今回の資料では本年はその検知設備の計数率方、大賀の警報が発報したパー位の措置についても追加をしております。
0:15:54	具体的には発表した際には原因を調査し、復旧すると。またその故障等による誤報時においては、遅発中性子大股カバーがそうね保存検知設備で監視する。
0:16:04	またその復旧可能な措置としては、遅発中性子をまたはカバー仮想燃料は土建設備で管理するというようにしております。審査会合の相互のアップでDBA対策ですとかBDBA対策。
0:16:18	等の関係も踏まえてというご指摘もいただいておりますけれども、DBA対策BDBA対策ではその運転制限条件、運転上の制限を超えた場合、の対策として原子炉スクラムすると。
0:16:29	いうことを書いてございますけれどもそれについては別の別表別の別表で書いているということでこちらは警報を行った場合の整備としてこちらの方は整理しております。
0:16:40	7.1. 5 運転要領になります運転要領の説明もこれまで審査会合で説明している内容をそのままこちらに記載をしております。18、進めそのまま。
0:16:50	記載しておりますルースパーツの対策として、以下の内容を強化することなテンゴウのリード文のところですが、プロスポーツの対策として書くということにしています。また、
0:17:02	それぞれそのルースパーツへの対策として計画流で実施するですとか、それぞれスパーテル対策として実施するということを追記するということにしています。
0:17:12	当該整備法の動作確認スクラム時間測定については、定格流量起動前に、まず生活流量にして作業の引き抜き等を行いますけれども、
0:17:23	定格流量Gにおいては制御棒の部分の流量というのが早く出ておりますので、定格流量時に、ルースパーツが入り込むというのは非常に考えがたいと。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:17:33	ということがございます。そういったことがございますので、こういったスクラム試験、それから、起動前の動作確認、こういったものをする際には定格流量で実施するという ことを、ここに明記をいたしました。
0:17:48	本件等の改定については以上でございまして 19 ページいただきます 7.2 は、SPA RTの探索。
0:17:58	になります。なぜ 2.1 のルースパーツの探索に関する経緯は、これは法令報告、記 載をしていたレスポンスの探索に関する内容について 7.2. 1 に該当する 7.2. 2 が、
0:18:13	今回の審査会合でご説明させていただいた、運転再開後なるスポーツの探索に係 る検討の整理ということで審査会合では七つの方策についてご説明をさせていただきましたので、
0:18:26	両括弧 1 から 22 ページの両括弧 7 まで、七つの方策についてそれぞれ記載をして おります。またそれぞれの方策の、
0:18:33	具体的な内容概念図についてはそれぞれの中に、本文に書いてあるそれぞれの図 に記載をしたというところになります。この今後のプロスポーツ探索に関する検討の 整理の結論といたしまして 22 ページ。
0:18:47	最後のところに書いて最後の段落に書いてございますけれども、この運転再開後の ルースパーツの探索について検討した結果として、ライラックある 14 内貯蔵中の新 燃料集合体等は、業種を取り出し、
0:19:00	取り出し後にCT撮影等を実施し、プロスポーツの探索に長期的継続的に取り組むと いうことをこちらに記載をしております。
0:19:08	7.350 スポーツに関する要素技術の開発です。こちらは 10 月の審査会合、技術部に ついての説明をさせていただいております。このSVIにつきましては、今後も要素技 術として留守%対策としての要素技術として、
0:19:22	開発を継続していくということにさせていただきますので、最後の段落の結論に書いてご ざいますけれども、今後も、要素技術の開発に長期的継続的に取り組む必要がある と判断した場合には、
0:19:34	徐々に撤去するということを書いてございます。
0:19:38	一つは、説明は土佐室長より、割愛させていただきましたけれども、本文内容につい ては以上でございます。
0:19:46	別紙がありますけどちょっと説明が長くなりました。別紙はこういった本文のストーリ ーとはちょっとちょっと関係ないところですので、
0:19:55	後で必要に応じてご説明をさせていただきたいと思っております本文については以上でご ざいます。はい、ありがとうございます。規制庁側からコメント質問等ございますでし ょうか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:08	最初。
0:20:15	すいません、会合予定。つまり仕上げましょうという、まず先ほどありました。はい。
0:20:26	予定です。予定。はい。その中で今回のルースパーツの話とRIの話RIの話については、火山の方の話も一緒にやろうというふうに考えています。どうぞ。どうぞ。合同で考えてます。
0:20:42	すいません。これ昨日いただいて、伊東伊井委員初めばかりで、こちらで言いますと、レベルなんです。今日はちょっと臨床試験、
0:20:56	院長、お知らせください。まず1ページの初めから、これ、昔の法令報告のことが、藤野赤池津江。
0:21:12	それを、新しいことはね、形としての本体からは、
0:21:18	今まで議論してきたバランスって、昔の方への報告ばかり書いて、最近はあまり書いてないという印象。
0:21:31	ここはね、それぞれ全体をカバーするような書き方にすると、それから、総務統制部署の発の理解が言いやすくなるという気がします。
0:21:48	それと個別にはまた読んでいくんですけど、それから実測結果が12ページ。
0:21:56	ページは、ご案内の総合性が、私たちのところではすぐ回収たので、ここへ書ききれするかなという、一番のところなんです。
0:22:09	一応企画原案は、私の主張があった流れがあるから、計画流量で流れてると本当は言ってこないんだっていう前提があって、それでもこれ入ったらどうなるんですかという検討もよ。
0:22:26	その結果丸井新藤とかを考えていくと、現実的にこの整備構想見せて今日はあるんじゃないかなと思います。
0:22:40	で、それでも、中身は1冊できるから、実質的に問題ないんだといったことが書いて欲しいんですけど、それを書かれてるかなという形と、
0:22:55	何か最初の印象でこの表に書いてあるんやみたいな形ですね、表に飛ばすのはいいんだけど、その結論に至るところでちゃんと説明させていただく。
0:23:11	ちょっとさせていただくような気がしたんです。はい。そこはもう少し考えて欲しい。
0:23:21	大和さん説明聞いている頭に書いてるようなんですけど、制御棒引き抜き前の質問なんだけど、これ一応昨日前に、
0:23:31	0、
0:23:34	ちゅうリソース計画作ってもらってという話があって、だからこれ有効なんですって話です。
0:23:41	使いたかったんですけど、ここにもあってもいいのかなと思って最初聞いてました。はい。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:48	そういったところ
0:23:49	にはね、すいません、チャットボット呼んで、福士議論して仕上げていきたいです。全般的にはもう議論した内容だったんで、
0:24:00	それにも、ワークショップで広くなります。一応私としては、
0:24:07	ちょっと言い訳らしいんですけど、10ページですね、調査の段落のところに、ここに
0:24:16	進行性分の冷蔵挙動の評価っていうのを書いてございましてちょっとここに書かれたので、良くなったと思いますので、もう一度、いわゆる12ページにはいいですね一応今一長一短で言いますから。
0:24:32	試合でいきましょうと。
0:24:34	10ページに基本的には入らないっていうのが書いて上でそのあとに繋がってたということなんでありますちょっと私の。
0:24:41	ありがとうございます。まだ20名で、ちゃんと議論して仕上げていきたいと。お願いします。はい。情報だと思しますので、回答をお願いいたします。はい。
0:25:00	すいません、お願いします。
0:25:04	また本日のいろいろ、趣旨を反映していただいて、わかったんで、今回は、
0:25:15	ぜひ調べて、
0:25:17	思います。
0:25:20	の方から、すいません以上、一応こちらの方では、
0:25:30	市岡工場あるよっていうのは、
0:25:34	こういう19日にこれが支払うと、すごくいいと思います。
0:25:45	ありがとうございます。小高委員、申し上げました。ありがとうございます。
0:25:51	私も一言だけ。どうぞ。
0:25:55	私もバーツと読んだときに、その最初の体験省が予算を取る方も全く同じで、あれってこの数ヶ月間のやつをもうちょっと括弧どっかあるけど、文章読むとあるけど、
0:26:12	何かこう分量的なイメージではちょっとうまくないと思います。はい、わかりました。それは全体的に全面的に直します。もうちょっと冒頭ところですね、五島がほら、曾我御手洗さん、そうそう、そうじゃなくてやっぱ構成が悩んで、例えば、何かずつ結果とか、
0:26:34	だ一と書くのはいいのかどうかっていうのも含めて、悩んだのでちょっと今日はまず構成の確認かなと思ったんですけどそれ変更だから、これ報告までは、別紙2も飛ばしちゃって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:52	要点だけ初めに書いて、今回やることを始めてしまうと、多分今みたいな話で、なくなるのかなあとっては、もうそれも出てるので、これ報告も他の話を別紙で全部しちゃって、要点だけ概要に書いて、今回の件をダーッと確定は、
0:27:11	ただいまの話聞くと、すっきりするのかな。そうですね。うん。いや、これ報告パーッと行って、さらに環境が、うん。
0:27:23	なんで、なくさつもりはないんですけど、要件だけにして、別紙に今、どかっ書いてる内容を、
0:27:31	おっしゃった方がすっきりするかなあとと思うんですけど、ちょっと違いますよね。
0:27:38	どうですか。
0:27:39	それは今そう言われてもちょっとよくないけど、
0:27:46	まず初めに元のところですよ。
0:27:51	これあれだよ。分量的に、まとめをまとめてきて、昔の法令報告等、今、検討等の断層と、
0:28:02	全部一緒にしますけどね。
0:28:07	古い話は奥三橋がそこですね、必須じゃないって言うかそうじゃなくて面ちゃうの。
0:28:14	今の話を考えて、部分的には次、44.2 行って結構書いてますよね。今後はこんだけたくさん書いてあるので、土佐主事。
0:28:28	その通りだとは、すいません。
0:28:35	ちょっと 4.2 からはちょっと基本時を出すような言い方もおかしいですけど、今回の議論としてわかりやすいように、栗原の元に、最初の部分ということが書いてあるので始めてきた。
0:28:55	了解です。
0:28:57	ということで、投資をある程度 19 だとすると、
0:29:06	評価、
0:29:08	12 例、それまでに、まだ何回か進んでいけませんと少しこちらこちらで、せっかく出していただいたはずだということで、
0:29:23	議論、
0:29:25	した方がいいということで、必ずしもね、直したものをいただかないと意味ないってこと前提はないから、そういう議論していませんけど、ありがとうございます。
0:29:41	そんな話が議論しない方、いや、どうぞ。いいですか、質問があったら、まずお話からなんですけれども。
0:29:48	最後まとめがあった方がいいかなと思います。お願いします。
0:29:54	あと、
0:29:57	どうしようもないお客さん再発防止策で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:00	資料切離し不能の話、それに対しての、
0:30:03	再発防止と書いてあるんですけども、
0:30:06	これと我々今回議論した話ではないので、東ソーコーポレート 10 万ページですよ。
0:30:14	再発防止再発防止、いや、これは名の方両方で風成層なんです。ただ、下水効率も高く、全体が逆にこういうのを昔の話の方を請負っていったら、あそこが強いと思います。
0:30:31	これは大事な話でやっぱり最後しまうといかんから、すでにこういう意識が必要だと思います。
0:30:40	そういう事の中にあった方がいいですか。石井とかじゃなくて、
0:30:46	兵頭さんのおっしゃるかもしれないけど、その報告の内容と基本的に一緒に上がってないですね。
0:30:53	だけど、柴山でなくてよくて、今の段階ですべてこういう感じになるといいかなと私はします。
0:31:06	あと次はですね、4.27 ページからの固定金の本策定品ステージを特定しない影響評価とか肝だと思うんですけども。
0:31:16	話の流れもちょっと若干わかりづらくなっちゃったのかなということがあって、
0:31:21	まず最初に、
0:31:23	固定分の計上特定しないってことで、固定品の計量所部分まで、もっと流動、ドアから言ってしまうようなもの含めて、
0:31:32	設定しましたって話が出てくるんですけども、4.2. 4 の評価と 4.2.5 の評価は、それより前に行った諮問小豆沢人時の、
0:31:42	評価の話がいきなり出てくるんですよ。それは 4.2. 6 でその章の話が出てくるんですけどそれはそれぞれの、
0:31:51	評価の、
0:31:52	イトウ位置付けみたいなものがなくなかったので、
0:31:56	何ていうんすかね。
0:31:58	理事会出てくるのかなというふうに、
0:32:01	直近で見た人が感じちゃうんじゃないかなと思いましたのでそれぞれ何を意図してやったのか、最初の方は、
0:32:09	観察結果に基づいた先方で評価したってことがあって、さらに、もっと細かい形状になってる可能性もあるということで、
0:32:18	評価を行った際っていうことはちょっと位置付けみたいなものがわかるようにしておく、話の流れが整理されていいんじゃないかな。最初のパラグラフた上で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:30	やればどんどん繋がる。そうですね。繋がりがわかりづらかった。そのところを整理してあげるとというのが、4.24 分割をして、発言中以上のものを評価すると。
0:32:43	浅井小の評価というふうに分けて、明確に、
0:32:47	分かれる。
0:32:49	ほとんどの部分の評価を説明してるのかと。
0:32:53	図れるようにすると、ということですね。
0:32:56	構成として二つあるとあってやり方としては、4.2. 4 という 4.2. 6 のまんまにしておいた上で、それぞれ 4.2. 4.2. 5 は、
0:33:08	まさに物の範囲ですね。
0:33:11	観察結果から考えてその意味で設定したわけですよね。その、
0:33:15	想定で評価した結果がこれですと、さらに、
0:33:19	4.2. 6 のところで、もっと小さいものも考えて評価しましたというふうにするのか、それか、
0:33:27	全部まとめるのは多分難しいかもしれないですけども、まとめてしまって、
0:33:32	まとめたら難しい。
0:33:35	実はですね、42.4 と言って 2.5%も最少も含めて書いていてそれが多分どの部分がどう言ってるのかっていうのが、
0:33:44	はっきりしないので、混乱、もう庄司と思います。2.4 の最初の方も、中盤より少し下まではずっとその編集長のことを言ってるんですけども。
0:33:56	最後のところには損傷を想定して、
0:33:59	それでもなおは損傷を想定するというのを、最後のところを書いて、
0:34:04	いますあと 4.2. 5 はそれぞれ書いてるんですけどもはその辺中以上であればとか、発言中以上の、例えば 10 ページの上の方はその辺中以上のルースパーツであればと。
0:34:15	いうことにして対象は全部対象にして書いてるんですけども、それぞれがどの部分を言ってるのかな。
0:34:21	わかりづらいと思いますので、明確に、種今後分けて、
0:34:26	記述すれば、少しはすっきりするのかな。
0:34:40	教えてください。
0:34:57	お話になってしまって恐縮なんですけれども、
0:35:00	緑風部のところの、
0:35:03	技術課の担当は、
0:35:08	ルースパーツ発生状況の推定で、症例報告時点の方の、
0:35:13	なんですけれども。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:14	24. 学校状況についてで、固定給ハンドリングゲートとか溶接される第 4.2 図に示すようにハンドリングヘッドの固定分以降、変形し固定品残存額。
0:35:29	固定品が切断等された形跡はないってあるんですけども。
0:35:32	すごく今もないようなふうに見えちゃうんで、その時に家形跡が、
0:35:38	見られなかったってことだと思うんですね。
0:35:40	だからその判断できるというか、そのとき当ても判断したってことです。そう。そういうふうにならなくて、だから、ある事項新しい発生CTOと、
0:35:55	まだ残ってみたいっていう話があって、古藤なんかよく読書するような印象を受ける。そうですね矛盾して、報告ではこういうふうな言い方したんだけど。
0:36:06	今となってみればちょっと違うと思ったところはどんどん直していただいた方がいい。わかりました。
0:36:13	それではこれだけとはにかく、ご提言はこっちについてないと判断したって実はそうですね。それであれば、ありがとうございました。わかりました。東條さんは、
0:36:28	お客様担当に算出しているいろいろ書いてあるんですけども、細かいんですけど計算に使用した値とかも書いていただけるといいかな。
0:36:48	話、あと、
0:36:52	内部でも議論してるかもしれないですけども、と。
0:36:57	16 ページに保安規定等の改定があるんですけどいろいろ書いてあって、なぜこの保安規定の改定でいいのかという理由があった方が、
0:37:05	いいのかなと思ってそういうとこですよ。
0:37:08	例えば
0:37:11	制御棒の話にしても、正常後、変わらない間には低角利用には入らないけど、停止する時に入る可能性があるから運転前に全数確認する必要があるとか。
0:37:22	というのが何かこの算定の改定だけでいいのかどうかのちょっと判断つかないのかなと思ってます。いかがですか。
0:37:28	例えば、16 ページに行きましてすいません、これ前回審査会合と同じだと言ってしまった、ちょっと追記をしまして、なお以降のところ、当該確認は原子炉起動時に原子炉冷却材流量が定格流量に達してから実施すると。
0:37:41	今今回追記をしました。
0:37:44	これなぜそうかっていうのは、あまり前の方読まない、前の方を読んで、
0:37:51	そっから推測しないとわからないんですけども、計画流量で実施するということをきっちり規定していると、保安規定の中では、
0:37:59	それでクローズしていると、本当にそういうことを書くというのはちょっとないわけではなくて、保安規定の改定を、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:10	その人ならぬじゃなくてなぜこの改定をしたかっていうその理由をどっかに書いていただけたらいいのかなというふうに思ってる部分のところに、結局、
0:38:20	ルースパーツの形状特定しない場合に、リスクって、
0:38:24	ここここここにあります制御棒の挿入性率、ポンプの噛み込みです。冷却材が継続です。その3点がリスクですっていうのがあって、
0:38:35	問題ないっていう評価をしつつも、問題があるかもしれないから、こういうことしますということなので、その繋がりが覚えればいいってことです。
0:38:48	いえ、それでいいですよ。何か来ます。
0:39:01	落とすところが起きていくのか、よくわからないと言いたかったのかなって聞こえたんですけど。
0:39:08	仕事も不安定なんですか。
0:39:14	いやいやちょっと、
0:39:18	何かを変えたらいいというのが明確になれば、
0:39:30	ちょっと狭い中でもちょっと話をするっていう感じ。
0:39:41	時間もありますし、でき上がって、
0:39:50	なのにを变える理由は、研修停止機能を持って、
0:39:57	対比だけ来るんじゃない。
0:40:04	疾患、
0:40:06	例えば
0:40:08	この、例えば 7.1. 2 本規定 112 条のスクラム時間であれば、前のところで影響評価した。
0:40:16	ところで、12 ページの(1)で評価をしたようなことが考えられるので、保安規定第 112 条を、このように規定しますとか、
0:40:28	なぜこの 112 条を 9 年に規定するのかっていうところの紐付けが、
0:40:33	されていれば、もう少し、
0:40:37	一番、
0:40:40	坂部専務に 05 栗原助教から説明申し上げます。
0:40:47	浦長崎。
0:41:07	実の方でもちょっと私見落としたかもしれないけど、
0:41:17	じゃあ、また読んでください。だから改めて、
0:41:32	そんなところですよ。
0:41:37	ちょっと淡路さん、ちょっと 1 個だけ、半田見てもあるんですけども、この 7 ポツのその保安規定っていうのはっていうことで、
0:41:47	私からもちょっと会合で、忘れないように、確実に反映して、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:41:54	要はASP出したものを、あれなんです。結局、保安規定そのまま2がつつり書くって いうことはないわけで、多分下部規定の方にちゃんとしたものを書くと。
0:42:08	いうところで、実際はやることなると思うんで、その辺も
0:42:13	対応っていうのか、どう我々も確認してつたらしいのかっていうところとかも、
0:42:19	ちょっと考えていかなきゃいけないのかなっていう、それに合った記載にしたほうが いいかなとは思ってて。
0:42:26	問題意識としては、要するに保安規定そのものが変わるので、
0:42:32	下部だっけか我々わからん見えないから、ちょっとその辺でどう、この報告書として、 命の交流な形に繋がるのかなと。
0:42:42	いうのがちょっと、我々としての悩みでもあって、ちょっとそれは今後相談させていた だきたい。
0:42:50	一つ案としては、ここはもうあって、或いは下部規定にこういったことを書き込むんだ けれども、
0:42:58	下部規定には、こういう内容を書こうと思ってる案とかね、をつけるとかですね、今は そういう形にはなってないですよ、運転要領、18ページの全面をご確認いただく。
0:43:20	ちょっとその辺は、私もそういう目で見ながら、どうやって確実に残るかっていうの は、ちょっと私の方でも考えたいなと思ってます。今日はそれだけです。はい。
0:43:40	他いいですか。だからそのマナーのところ、説明を聞きながら、ちょっと疑問という か、検証した方がいいなと思ったんですけども。
0:43:52	7.1. 1 のところで、保安規定の運転要領を定めるところの条文のところ、また書き で、こういう文章を追加するってことなんですかね。
0:44:07	これも一つだと思ってるんですけど、僕がね、こないだの審査会合で、駒井さんだと か杉山委員からもあった話っていうのは、僕の理解は、
0:44:21	すごく後も必要だね。
0:44:24	なんでこんなね、
0:44:26	運転要領があるんだらうと、例えば、その運転中にこんなことをしなきゃならないとか ね。
0:44:35	これどういう意味があるのかな。
0:44:37	って言ったときに、理由がちゃんと書いてないと、その一つ一つのね、操作みたいな ものに、
0:44:46	よく書いてないと、うちの人んちの人が、そのルースパーツはまだない存在してるの に、よく理由もわからないから、これは除いちゃうみたいなね。
0:44:58	そういうことが起こらないように、
0:45:01	して欲しいなっていうふうな趣旨だと思ったんですよ。なので、この、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:08	運用のところにこの2行だけ書くっていうのは、多分ちょっと違うのかなと思っていて、その個別の要員の中に、運転中に何々の操作をする。
0:45:22	それについては、NSパーツが残っているためにね、いわゆる操作であるみたいな。
0:45:29	一つ一つの操作がどういう意味を持ってるのかっていうのが、
0:45:33	わかるようにして欲しいなと思ってるんですけど。
0:45:37	そういう対応をとるっていうのは、この報告書でどっか見えてくるところがあるんですかね、38ページの8ページ、17.1.5の運転要領は記載案を見ていただきますと、今回の対策はルースパーツへの対策として実施するものであると。
0:45:57	いうことを一つずつの対策に変えて、括弧書きで、先ほどこれからよく検討ですけども、きちんと一つずつの対策これが、今荒田さんからご指摘あったような後で動かしてですね、補正なんていうことが絶対ないように、我々スポーツ対策として実施しているのもう早めながらずっとやり続けなきゃいけないんだと。
0:46:16	いうことをするまでね。
0:46:19	やり続けなきゃいけないということがわかるようにですね。はい。運転要領に書こうと思っております。わかりました。はい。
0:46:30	関連するものしか書いてないんですけど、本当は色が無いわけですよね。そん中で、機器を出すようになっていうか、これは、
0:46:42	こういう意図だよっていうのがわかるように、例えばいいのかなっていうのがイメージです。そうです。わかりました。ありがとうございます。はい。
0:46:56	これだけ細かい話、旧組織、
0:47:02	ちょっと紅葉をしてしまった話をさせていただいております。
0:47:08	9ページ、42ページ。はい。左が、会社の安全活動の中が、これは88%と理解いたします。はい。
0:47:23	右側99%されてないでしょ。実はこの時に、上コンマ8月平均ってのは、90%で、88万÷90で全然問題ないと思ってないんですけど。
0:47:36	そうですね。本日作成します。あと、85%下げるんですよ。もうちょっとよろしくお願ひしたい。
0:47:44	87%という数字を覚えて88%ぐらいと言っちゃったんだけど、情報課長90%メーカーだけ。
0:47:55	今年いたします。
0:47:59	説明。実際にそこで運転防止の赤嶺なんかの名の数字が出てます。
0:48:09	私は91条一つあったんですけど、やっぱり評価すると88、こんなふうにつなげるとは思わないですよ。この図を見ていただくと、こんなところに引っかかりようがない。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:48:22	ないですよ。なんか微妙な数字だったなど。
0:48:30	薄井加来の判断、ちょっと水村。
0:48:36	そんな話になったときにはちょっと、
0:48:38	また考える。
0:48:47	訂正するつもりはありませんか。
0:48:51	数字が続けばそんな変わりましたという。
0:48:58	三本で触れておりますので、3.88 本入ってるってことですので、麻生層の中に
0:49:08	いうこと。
0:49:13	90 は全然、ちょっとですけど。
0:49:22	そうですね。全員そうです。
0:49:26	いや、
0:49:27	いやいや、すごいですね、これ。
0:49:40	はい、以上でよろしいですか。これは継続してまた議論続けていくということで、よろしくお願いします。
0:49:49	石井さんの方。
0:49:57	それでは、
0:49:58	荒井伊勢さんの概要、申請の概要について、
0:50:07	1 ページ目をお願いします。
0:50:10	まず、今回申請しました現象選考研修の目的ですが大きく分けて 2 種類ございます。まず一つが使用の目的の追加でございます。
0:50:21	高速実験の研修室放射性同位元素生産その他研究開発をするための目的を追加することが一つで、次にその前方の、
0:50:32	所の目的の追加で、
0:50:34	データあるA3 の提出をいたしまして、こちらの実験設備及び用設備として、アライ生産用実験装置を追加するものでございます。
0:50:44	続きまして、2 ページ目お願いいたします。
0:50:49	こちらが城野ランド概要でして従前から審査で審査いただいておりますのでご存知かと承知しておりますが、海部ご紹介いたします航路支援。
0:51:01	はい。小磯城野。1 回いただきました炉心の移動炉心構成要素。
0:51:08	は、むしろ人工石でございまして、炉心の燃料が 79 体で制御棒のうち、通常の制御棒が 4 頭、後備炉停止系の制御棒が 2 本、
0:51:22	ございまして、JAのシーンの内部に装荷する、諸種照射試験用の集合体の最大装荷体数は 4 対 1 でございます。
0:51:34	続きまして、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:36	3 ページをお願いいたします。
0:51:39	こちら、
0:51:40	どちらがMillstone示しております、
0:51:45	まずスワン 1977 年から本炉心増殖炉心で運転を開始ありまして、82 年には照射用の炉心に炉心を更新いたしました。
0:51:57	それ以後は、照射用炉心照射試験用の現象として運転を続けて参りまして、昨年度の 7 月に許可を、
0:52:08	いただきまして、新しく炉心として運転を再開する予定でございまして、こちら炉心ですが、FBRを中心とした目的事業を実施するという計画を、
0:52:21	持っておりますそちらに向けて現在、様々な作業を進めております。
0:52:28	次の 4 ページ目に、具体的に原子力は所を用いて、どのような、
0:52:35	研究開発を実施するかというその利用計画について記載を載せております。まず減少機構の活動は
0:52:44	中期、中長期目標を基にして作られているんですがこちらへと令和 2 年 2 月 28 日に、
0:52:52	所轄が所管の省庁である文科省と経産省で策定されたものでございまして高速炉、核燃料サイクルに係る経営研究開発、
0:53:05	それに加えて原子力基礎基盤研究センター原子力科学研究、中性子等の利用研究及び原子力系、原子力計算科学研究の、
0:53:16	地震後の大きく分けて二つの項目について情報を活用して、するような計画が目標を策定いただきました。そちら。
0:53:26	を踏まえまして、減少機構として、中長期計画を
0:53:31	作成いたしまして、記者については同年の 3 月 3、
0:53:35	3 月 24 日に認可いただいた工程がございまして、ここに示してある五つ、大きく分けて五つの項目について情報活用する計画であるというふうにしております。
0:53:47	読み上げますと、高速炉の実証実証技術の確立に向けた研究開発。
0:53:53	私が根井郡様、高レベル放射性廃棄物小廃棄物の減容化、有害度低減等の核燃料サイクル研究開発。
0:54:03	中性子動利用。
0:54:06	研究、次が加速器自動システムを用いた核変換技術の研究開発で最後に人材育成でこのような三つの項目で活用する計画でございまして。
0:54:18	こちらをさらに具体的に示したものが次のページ 5 ページにございまして、当所をこちらに示す大きく六つの、
0:54:28	具体的な研究開発に使用する予定でございまして。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:33	基本的には先ほどの内容の繰り返しではございますが、まず一番上に実証炉等の開発、炭素実現エネルギーセキュリティの確保。
0:54:45	が一つ。続きまして鳥海李を、
0:54:49	その次に、持続可能な減収くりを、
0:54:53	原子力ポテンシャルの追求、原子力技術者の育成と、こちらは今回と大きな申請の変更でございますがこのエレベーション創出。
0:55:04	具体的に言いますといろいろRIの製造でございます。こちらの所の、
0:55:11	利用計画を踏まえまして、今回の変更では、事象の目的、これまで、高速増殖炉の開発のみでありましたところ、すでに超えて一般研究材料照射、放射性同位元素生産、
0:55:24	生活を申請したところでございます。
0:55:31	続きまして6ページ。
0:55:35	こちら、今回のRI生産の等が、
0:55:40	について具体的な、
0:55:42	当計画もそうになっているアクションプランを掲載してございます。こちらの資料自体は内閣府原子力委員会がS社決定したものでございましてこちらへと中段アクションプランのオレンジ色の項目の下に(1)重要IPラジオアイソトープの、
0:56:00	国内製造安定供給のための取り組み推進というところに上から二つ目の項目ですね、こちらに譲与。
0:56:09	失礼しました。常用速記を用いたアクチニウム2個裁量製造のための研究発強で、常陽において2026年度末までに、精度を実証する。
0:56:20	ということが、内閣府に決定いただきましてこちらに沿って、本、
0:56:26	今回申請にあります、SRI生産について、計画しているところでございます。続きまして、
0:56:36	7ページに大きな項目の二つ目で申し上げましたRI生産のための利用実験設備及び利用設備で、
0:56:46	我々、RIA参与実験装置等俗称しておりますが、知覧装置についての概要でございます。こちらのROSA参与実験処置は、
0:56:59	RI内部にRIを照射物として入れまして、必要照射することで目的とするRI、放射性同位元素を得るための照射リグでございます。こちら、
0:57:11	構造は基本的にキャプセル以外、材料照射用反射体と同様の構造でございます。今回あるうわ一焦点となると考えられておりますのがこのROSAサインをキャプセルの設計ですが、
0:57:25	そちらについては次のページ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:31	必要がございまして 8 ページをお願いします。
0:57:35	こちらの通り、
0:57:39	の仕様で製造、生産等を製作することを考えております。今回、
0:57:47	川添参与実験装置。
0:57:49	中に創出対象とする照射物は各種GM26 に限定しておりましてそちらを一つのキャプセルあたりで伝令 2 グラム以下に、
0:58:02	制限するといった仕様でございます。キャクセイの素材等は、ステンレス候補地予定です。江藤清衛藤説明が前後して申し訳ございませんが、
0:58:13	そもそも今回所先ほど照射すると申しましたラジウム 2 広くについての説明が、このスライドの確認でございます。先ほどのアクションプラン、
0:58:24	においては、アクチニウム-25 の、
0:58:27	大量製造と記載がありましたがこれはラジウム 26 というのが、アクチニウム 2 号の原料でございまして、ラジウム 2262。
0:58:38	中性子を主に高速中性子を当てることによって、N2N反応を起こし、
0:58:44	ラジオ 2 号を生産いたします。このGM2 号は 14.015 日でベータ崩壊しまし半減期で植田崩壊しまして、今回製造の目標のうち 2 人以降ができ上がる。
0:59:00	仕組みとなっております。このアクチニウム 25 なのですけれども、こちらはいろいろ、
0:59:05	のラジオワーストとして期待されておりまして、その特徴と特徴が最下部のガクガクの中に記載してございます。
0:59:15	こちら $\alpha$ 線の医療法というものにして活用する予定でございまして、0RTM2 以降安定核種に落ちるまで 4 回アルファ線を出しまして、
0:59:28	この $\alpha$ 線規定が短いため、がん細胞に出席させた場合は他の臓器にほとんど影響を与えないというすべてがございまして。
0:59:38	またこのアクチニウム 2 以降、伴さん計画書に落ちるまで、半減期がす。
0:59:45	長くありませんので、放射性物質主体に残留することが少ないという特徴から、放射税、医薬品のすぐれた候補として、今現在研究が進められてございます。
0:59:58	次の 9 ページに、
1:00:01	ではそもそもなぜ今回条例を用いてアクチニウム期にこう作るかという説明がございまして、
1:00:08	チーム 2 号の江藤大矢核種である阿久津ラジウム 2 を作るためには、ラジウム 2626.4m 以上の中性子を当てて、
1:00:21	N2Nは起こす必要がございまして、下部の、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:27	エネルギー、地震波のスペクトルが記載されております図を見、ご覧いただければ、わかりやすいのですけれども、軽水炉ですと、高いエネルギー領域が中性子を受けられる、入れるために入れることが非常に難しい。
1:00:42	江藤高速炉の特徴では高速中性子を生かした、
1:00:48	RI制度ということで、今回、条例を活用して、
1:00:52	した計画が立てられているところでございます。先ほど説明いたしましたRAC参与実験装置ですけれども、6.4m以上の、
1:01:04	小中性子の照射が必要ということで、炉心領域の中でも、中心に近い位置で装荷する予定予定としております。
1:01:16	次お願いいたします。10 ページ目を。
1:01:19	します。
1:01:23	じゃあ、今回アライ生産実験装置を追加するんですけどもそれに伴いまして、9 燃料、
1:01:33	薬剤措置の一部の経路の変更もあわせて実施いたします。で、実際どのようなものかと申しますと、従前、FMFIに、クルー。
1:01:45	集合体は、FFのナトリウム洗浄装置を用いますので、十分アトリウム洗浄装置を使用したりはしないの、使用しないんですけれども。
1:01:56	今回、RA。
1:02:00	企画チームを入れるためには、非常に早いスパンで、諸種早い
1:02:08	時間で炉内から取り出してFMFIに移送する必要がございます。そうして改定する必要がございます。ただFMFIの乾燥装置は自然乾燥となっております、
1:02:22	非常に乾燥までに時間がかかることから、常用ナトリウム洗浄装置で洗った後に譲与、赤い燃料集合体缶詰装置に変えて移送機というものがございましてそちら。
1:02:36	は強制ソフによる観測が可能となっておりますので今回新たに江藤長様の、
1:02:44	燃料洗浄瀬措置で洗浄した後に、海底に掃気で乾燥させてからFMFIに送るために、経路を追加する。
1:02:54	計画でございます。ただし今回、準ろう自体は変更するのですけれども、設備等の一切の変更はございません。
1:03:03	で、後程 44 条の説明のところ、改めて申し上げますが、大きな変更はないものとなっております。
1:03:15	次の 11 ページをお願いいたします。
1:03:20	こちらが、RI生産に係る全体の許可申請と、今回申請をいたしました、原子炉施設。
1:03:30	その申請の位置付けを示したものになっておりますまだこれは他の所の申請以外につきましては現状で安藤がなっておりますが、徒歩カーの、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:43	RISFMFの隔年の塩谷MRIの申請に先立ちまして
1:03:50	城の場合ですと、理由の設計や製作が必要なことから今回の
1:03:57	他と比較しまして時間を要するため、先行して申請をしている次第です。
1:04:06	次、12ページをお願いいたします。こちらが原子炉設置変更許可申請書におけます、おきます、変更点のありなしを記載した一覧になっております。
1:04:19	まず本文、今回変更がございますのは、本文添付書類1、添付書類3添付書類5添付書類6、
1:04:30	添付書類8、添付書類10となっております。これらの変更のありとしましたところについては次のページで詳細を記載しております。
1:04:42	13ページをお願いします。
1:04:46	まず13ページ。
1:04:48	に記載しております通り、本文、
1:04:52	では、期初の目的を追加しまして、生産RA生産用実験装置を追加いたしました。また、それに加えて、
1:05:04	RFS実験装置の追加に係るけ工事結構追加してございます。
1:05:10	次の点一井税務書類1ですがこちらは原子炉使用の目的についての添付書類でございましてこちらには本文と同様に、使用の目的を追加してございます。
1:05:21	次の添付書類3は個人に要する資金の額及び調達計画でして、横地には今回のRFS実験装置の追加に係る資金とかこういう調達計画を記載してございます。
1:05:36	続きまして添付書類を、減少施設の設置及び運転に関する技術的能力ですが、こちら1本、変更に関する技術的能力を記載してございます。
1:05:47	続きまして添付書類6、減少施設の場所に関する気象地盤水位、地震、社会環境等の状況ですが、こちらについては、火山、
1:05:59	について一貫最終の試験を反映いたしました。寺井につきましては、昨年度12月に許可がございました。
1:06:10	日本原電東海第2原子力発電所で新たにの審査中に反映されました火山の最新知見を反映してございます。最新知見の範囲により評価対象の火山が一つ追加に。
1:06:23	来ましたがそちらに間そちらを個別評価を実施した結果として、従前、不破でいただいた久賀でご説明いたしました評価結果から変更はございません。
1:06:37	次、次に行きまして、添付書類8原子炉の安全設計についてです。こちらではRA生産の実験装置を追加いたしまして、また先ほど申しましたアライ生産実験装置の取り扱い経路の、
1:06:50	追加を実施いたしました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:06:54	最後に、添付書類 10、受講の種類程度影響等に関する記載でございますが、こちらについては、
1:07:04	表中の炉心構成要素、
1:07:08	他のおっしゃいました表中に、MS管理MS1 の関連系の記載がございまして、そちらの一覧に他の炉心構成要素等を同列に地域したもので、
1:07:20	ございまして、10、菊川で説明いたしました、AをDBABDBA事象等の解析条件等に変更はございません。
1:07:30	では、これまでは添付書類 5、どのような変更があるのかを説明して参りましたが、続きまして 14 ページ。
1:07:39	それから、
1:07:42	14 ページからは、各基礎賦課基準規則の条文ごとにどのような変更があるかというのを説明して参ります。
1:07:54	まず、第 4 条、地震による損傷の防止でございますがこちらについては、耐震スクラスの施設に他の炉心構成要素と同列にRSE-M実験装置を追加いたしました。
1:08:07	次に第 6 条、外部からの衝撃による損傷の防止率が、こちらについては、
1:08:14	先ほど申しました火山の最新知見の反映がございまして。ただし評価内容等に変更ございません。
1:08:22	次に第 12 条安全施設、
1:08:26	ですが、こちらも第四条といったような圧損っすよ。
1:08:33	概要方でして、ケース 1 及びMS1 の関連系の一覧がございましてそちらに他の炉心構成要素の一つとして追加してございます。
1:08:45	次に、第 19 条、反応度制御系統ですが、こちら、RSE-M実験装置を炉内に装荷しまして、運転をした際に制御棒及びそれら反応度制御、
1:08:59	について影響を与えないことを記載してございます。
1:09:04	次に、15 ページをお願いいたします。
1:09:09	まず、15 ページの最初は、第 10、第 20 条でございまして当庫チラーが、ともに実験設備等の記載に関する項でしてこちらに実験設備及び用設備。
1:09:25	そして、とある生産用実験装置を追加いたしました。またこのRAORI生産用実験装置が
1:09:35	異常が発生した場合にあって、原子炉の安全性を損なわない設計としていることを記載してございます。
1:09:43	次の第 32 条、炉心等ですが、こちらは第十九条と言ったような記載となっております、アライ生産を実験装置。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:09:55	プレセールスまず最初に、RAC専用実験装置の炉心領域の装荷体数は、照射燃料集合体照射実験装置と合計して最大4台とすることを、制限として設けており、設けて、
1:10:08	次にこれらの炉心装荷した際に、原子炉の安全に影響を及ぼさないことという説明を記載してございます。続きまして第40最後に44条でございましてこちら、
1:10:22	燃料体の取扱設備及び貯蔵設備、施設のところでして、こちら、
1:10:30	は先ほどの説明にもありました、RSiO実験装置に限定した経路の一部追加をする旨を記載してございます。
1:10:40	で、先ほど説明一覧説明いたしました布施空への適合性、2のそれぞれの条文に対する規則への適合性を以降の、
1:10:51	スライドで説明してございます。
1:10:54	このまま流れで最後まで説明してしまった方がよろしい。
1:10:59	現時点では、
1:11:03	じゃないでしょうか。
1:11:06	何かございますか。もう一度お願いいたします。他には資料はございません。ちょうどここで細かなざっくり言った話から以降は、前から。
1:11:19	新しくなっていくますので一度もしここで疑問点ございましたと思いましたが、相談対応でしたらそのまま、詳細について説明を進めて参ります。
1:11:32	すいません。まず、29ちょっと順番が先ほど説明と前後しておりますが、まず最初に第29条、の説明でございまして、こちら先ほどから実験設備及び利用設備というふうに申しておりますがそれをこちらの第29条に定義が、
1:11:49	ございまして、床チラーの実験設備及び利用設備、以下、実験設備等と総称するというふうに記載されてますがこちらに、
1:12:00	RSSの実験装置を追加するものでございます。第29条、条文第5号までございまして、こちらの一つ一つについて、ちょっと所。
1:12:11	長くなりますが説明を読み上げさせていただきますまず、第5約束第一位、2号ですね、第1号については実験設備等の損傷その他実験設備等の異常が発生した場合においても、
1:12:25	試験研究用原子炉の安全性を損なう恐れがないものとするということという要求に対しまして、設計方針としては、照射資料は、照射物最高温度が、
1:12:36	溶融温度以下になるように設計する。万一、一型アライ生産用キャプセルに破損が生じても、炉心燃料集合体の冷却を阻害をする障害する恐れのあるスラグ等が、
1:12:48	当該キャプセルのする場合を目指すことなく、原子炉の安全性を損なわない20分が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:54	設計方針が、対応方針としてございます。続きまして、第2号、実験物の移動または状態の変化が生じた場合においても、
1:13:05	運転中の試験研究用等原子炉に反応度が異常に購入されないものとするに對しまして、照射試料は、照射物を一型RI生産用客船に密封した構造としている。一型ARI生産用キャプセルは、
1:13:21	RS生産用実験装置に組み立てられて炉心に装荷されるため、照射中に照射試料の移動が生じることはない方、炉心装荷される照射物の最大量を制限しており、
1:13:33	万一、詳細の変化が生じて、反応度が異常に想定されることなく、
1:13:38	反応度制御系の操作により十分に安全に制御できる等対応方針としてございます。
1:13:46	次に第3号、
1:13:49	放射線までの放射性物質の著しい漏えいの恐れがないものとするに對しまして、照射試料は、照射物を一型アライ生産用客船ユニックした構造とし、
1:14:00	諸放射性物質の著しい漏えいの恐れがないものとする。
1:14:03	いうことを、対応方針としております。第4号、試験研究用等原子炉施設の健全性を確保するために、地域圏設備等の動作状況、異常の発生状況。
1:14:16	周辺環境の状況、その他の試験研究用等原子炉の安全上必要なパラメーターを、原子炉制御室に、原子炉制御室に表示を基本とするに對しまして、
1:14:29	ROSA参与実験装置は、菊川の照射用実験装置と同様に、炉心に装荷して使用する、R衛生参与実験装置の使用にあたって、特別な操作は必要なく、
1:14:40	運転中に関するパラメータ及び必要な警報の図の追加や削除はないと。
1:14:46	ことを対応方針としております。普通、最後に、第5号、実験設備等が設置されている場所は減少制御室と相互連絡することができる場所とすること。
1:14:59	に對しまして、RIA参与実験装置は寄付照射燃料集合体材料照射用反射体、もしくは材料照射用いたしません、照射用実験装置同様に、
1:15:11	初心に装荷して使用するRI生産用実験装置の使用にあたっては特別な操作はなく、安全上の連絡を要しないことを対応方針としてございます。
1:15:23	で、続きまして、17ページに詳細な設計について、収集を復習及び設計方針を記載してございます。
1:15:35	うちは基本的には、材料反射材と共通の構造を有しますが、RIA採用キャプセルについては新たな設計となるところでございまして、どのようなものかと申しますと、長尺増ステンレス管、
1:15:50	ステンレス高野管に挿入し、両端を溶接することで密閉する、大震災をキャプセルには一型剤生産用キャプセルがある。1方、川添制作局長の照射物にある住民に力を使用するという事です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:16:05	でございます。こちら今回、本社程度。
1:16:10	造影検査を生産するにあたって、その照射物の制限はこのキャプセルを用いて実施することを考えて、ご心配実施いたします。ですので、今後各種をふやす際には、このキャプセルの種類を追加することによって、
1:16:26	他の職種を防ぐ、生産する予定でございます。
1:16:31	これはISIを実験装置の設計方針につきましては、ちょっと他代表反射体が5、商社集。
1:16:40	商社集合体庁舎庁舎 10 研修。
1:16:48	小田清をしてしまいましたけど、そちらと同様に、二つ目のセクションⅢを用いて、設計をいたします。
1:16:58	続きまして、18 ページに健全性評価を記載し、掲載してございます。
1:17:05	こちら、今回装荷するラジウム 26 は背アラカワ崩壊を起こしまして、照射中も内圧が上がるのが想定されております。
1:17:17	またラジウム 26 自体は答ではあるのですがけれどもその娘核種子孫核種に安心院 2 断層 22 がございましてこちら、
1:17:30	あれは崩壊によるヘリウムと、rad2 によって内圧が上昇することが考えられるますので、そちらについての評価を実施いたしました。評価結果を端的に申しますと
1:17:45	フレームを保守的に、
1:17:48	現在 2 立方センチメートルと設定した際に制限である 0 点。
1:17:55	02 グラムのA棟、
1:17:59	照射物から生成される、フィルム及びラドン 2 には 10 の -3、2×10 のマイナス 3 乗 15 センチメートルであり、
1:18:09	内圧上昇を預かってきました。また、温度変化が、
1:18:14	都内相当前と運転中ございましてそちらの評価を実施してございます。で、ちゃんと結果として所装荷した時点では 0.1MPa、絶対値で 0.1MPaであったものが温度上昇しますと 0.4MPaになります。こちら
1:18:34	FLIP、
1:18:35	今度は剤材料の健全性評価等を実施いたしまして、十分に余裕があることを確認してございます。で、以上の結果から平常時の運転時には、トピックが担保されるため、
1:18:50	局長じゃないから先生がサポートしてないことを評価していきます。
1:18:55	続きまして 19 ページをお願いいたします。設計としまして、アクセル外に放射性物質の漏えいがないとしておりますが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:06	こちらの件数が万一開口破損した状態で運転を継続した場合の評価も実施しております。こちら、先ほど申し上げた条件、キャプセルの、
1:19:20	圧損が生じた状態で、それを感知できずに、
1:19:24	生存権を継続したと仮定した場合におきましても、
1:19:31	まず、失礼しました。1点条件を載せてございまして、まず0点。
1:19:37	02グラム1キャプセルあたりの最大となっております、そちらキャプセルが実機集合体に六戸サイズ制御を設けてございます。
1:19:47	その制限で合計1集合体合計で0.12グラム、装荷できるのですが、そちら最大4体がある参与実験装置をラインに子孫化することができますので、
1:20:01	炉心全体で0.48グラムが装荷されることを想定して、計算をしております。
1:20:08	こちら、
1:20:11	そ。
1:20:12	0.48グラム装荷した際の最大放出量を計算しましたところ、 $5.2 \times 10^{-10}$ 乗ベクレルパー年となりまして、こちらは希ガスの放出管理目標、
1:20:24	の放射0.15%程度でございまして、もし仮に年1年受継続して、
1:20:34	そうした状態で運転を継続してしまった場合にあっては、ソースタームへの影響は無視できることを確認してございます。
1:20:44	続きまして20ページ目をお願いいたします。
1:20:49	こちら32条と19条の、
1:20:53	記載をあわせて掲載してございまして、こちら、
1:20:58	32条の条文、第1号から第3号までございまして、こちらに対する、
1:21:06	対応方針の見込みから読み上げさせていただきますが、まず炉心への装荷炉心へ装荷される、照射物の最大量を制限しており、炉心の核特性への炉心の核特性への影響は無視できるため、原子力固有の出力抑制特性や、反応度制御能力への影響をして、本委員会等で、
1:21:26	最大過剰反応度反応度請求能力案の停止余裕最大反応度添加率や反応度添加係数に変更はない。
1:21:37	次の方、
1:21:39	次へと是正作用実験装置の追加により、標準平衡炉心の代表戦営業変更がなく、余震の曲線影響を及ぼさない。
1:21:48	炉心燃料集合体の面積制限値や設計基準値に変更はなく、炉心は通常運転時または分娩時の異常な過渡変化時に試験研究用等原子炉の運転に支障する。
1:22:01	に支障が生じる場合において、原子炉冷却系統を原子炉停止系統、反応度制御系統を計測。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:11	計測制御系統及び安全保護回路の機能と合わせて機能することにより、燃料の許容設計限度を超えない。
1:22:20	次の次に、燃料の許容設計限界を超えることがないため、農業集合体の下造の変形破壊が生じることはなく、
1:22:32	所要の運転期間において、通常運転所及び運転時の異常な過渡変化時に被覆管による放射性物質の積み込み機能、そういう制御棒の挿入性及び冷却可能な形状が確保されることを 32 条の対応方針としてございます。
1:22:49	続きまして、第 19 条の要求に対しましては、照射資料は、照射物最高温度が余裕温度以下となるように設計する。また、
1:23:01	照射試験資料は、照射物を一型アライ生産用客船入出した構造としている。一型RI生産用キャプセルはRI正参与実験装置に組み立てられ、炉心に装荷され、進めるため、照射中に照射試料の移動が生じることがない。また、
1:23:18	炉心装荷される照射物の最大量を制限しており、単一状態の変化が生じて、反応度が異常に投入されることはなく、炉心の核特性による影響が、
1:23:29	数えないものとして売り、反応度制御系統の操作により十分にあるように制御できる。次に、制御棒注 5 点について変更はない。また、
1:23:39	炉心装荷する照射物の最大量を制限しており、炉心の腐食性への影響を防止するため、制御棒による最大反応度添加率約 0.0016 Δk 分の計。
1:23:52	データテーブルだけでは、世界に影響はないと、してございます。こちらの、
1:24:01	説明が次の 21 ページにございまして、弱毒性の影響の評価は、計算コードで実績サニテーションを用いて実施いたしまして、
1:24:12	草加市は炉心領域に設置しまして最大装荷戸数は 4 台を入れてございます。
1:24:20	こちら、下に示してある計算、表の通りの結果となりまして、最大炉心に 0.48 グラムを挿入した際には、この表示と、
1:24:33	大変見づらくて申しわけないのですけれども、
1:24:38	来週の総会をゼロから確定的に 400 グラムまで入れた、
1:24:45	推移を示してございまして、炉心に入れる今回の申請で制限としています 0.48 グラムワークの 0 と 0 グラムから 4 グラムの間、
1:24:56	0 点、収束判定が 10 のマイナス 4 乗ですねそこでは差分が現れない結果となっております、どこまで、炉心に装荷したら、装荷した場合に、炉心へリンクが現れるかというのが、もうすでに 100 グラムまで装荷しますと。
1:25:12	ふやす反応度が約 -0.0001、竹井さんの経験とKKダッシュと、
1:25:20	夏程度でございましていずれに調べた内容、傾向としては、負の方向に行くものとなっております、これらの結果から 1 炉心への核良心の各植生の影響は、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:34	平均を出さないことを確認しております、標準平衡炉心の代表性に変更はないと評価してございます。
1:25:43	続きまして、-22 ページをお願いいたします。
1:25:48	こちらは第 47 条の適合性についての説明でございますが、今回、40 条への対応方針のみ読み上げさせていただき、読み上げます。
1:26:00	照射後のアライ生産実験装置の取扱経路一部追加する旨と、核燃料物質取り扱い仕組み改造変更はなく、ROSA作業実験装置の追加は核燃料、
1:26:14	物質取扱設備の設計に及ぼさないほど対応方針としてございます。
1:26:20	次の 23 ページをお願いいたします。こちらに、第 4 条第十二条に係る記載の追加。
1:26:30	して、対しまして、第 4 条及び第 12 条のレートのような変更があり、あるかというものを記載してございます。第 4 条についてはSクラスの補助設備に、他の進行性よそと同様に、末尾にRSE-M実験装置を追加するものでございまして、
1:26:49	これとほぼ同様に、第 12 条においては、炉心形状の維持機能としているPDS1として、設置、及び、原子炉の緊急停止及び未臨界維持の関連系としてMS1 にそれぞれ減衰して、
1:27:06	新たに追加してございます。
1:27:11	次に 14 ページをお願いいたします。
1:27:15	こちらは 2 台。
1:27:17	六条からについての記載の追加。
1:27:21	て記載しております、主に、これ以外にも、その三つの文献、正確に言いますと二つ、合計で三つの、
1:27:31	文献が追加され、一つの文献が、更新されましたので、それらの変更内容を最新知見として盛り込んでございます。そのうち一番大きな影響の、
1:27:45	言いましたのが、※1 で示してあります、渡邊ほかの論文でございまして、これにより、従前、多賀田山は影響がないものとして、活動可能性。
1:27:59	いらっしゃいました影響がないものとして、評価対象外としてございましたが、この二俣山について活動可能性が否定できない火山として、改めて分類いたしまして、これまで従前評価してきました。
1:28:13	この地山と笹森山に加えた 2Aと二又も加えまして合計 3 火山について評価、新たな評価対象と。
1:28:23	これによりまして合計で、もともと 12 火山であったものが 13 火山となりました。ただ、これらほかにエサ反映最新知見を反映いたしましたがすべての最新内容につきまして、
1:28:38	前回の許可で評価説明いたしました評価内容からの変更はございません。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:46	最後、25 ページ目には、
1:28:49	本変更に係る工事計画及び変更の工事に要する資金の額を記載してございまして、アライ生産用実験装置の追加に関わる追加におきましては、
1:29:02	政策を、2025 年度、
1:29:06	の始めまして、2026 年度までの中頃までに、清酒匂 2026 年度の中子以降に、
1:29:17	照射を開始する計画でございます。資金につきましては、6000 万円となっております。これは消費者飼料の工事に要する資金を除いております。これらの資金については、原子力機構の運営交付金等の財源をもって充当する計画でございます。以上が、
1:29:37	RI生産の実験装置の追加等の設置効果申請の概要でございます。
1:29:45	ご説明ありがとうございます。市長が何か質問コメント等ございますでしょうか。
1:29:52	じゃあ、10 ページ。
1:29:57	はい。
1:30:11	今松波クラブは、
1:30:15	このAとAと。
1:30:24	はい。この辺りの説明が少し不足しておりましたので今補足したいのですが、今回、
1:30:35	最初単位がキャプセルになっていて、そのキャプセルの中に 0.202 グラム最大の制限がございますので、そのキャプセルを一つの州をタイに最大 6 個入れることがございます。これ今図には 6 本の、
1:30:54	ときゃコンパートメントが入っておりましてそれぞれ 1 ヶ所に、1 本ずつに行こうカプセルを入れるのか、それともその 1 本に縦に、ロープをなるべくかっというのは、提言しておりません。
1:31:06	所成型しない状態にして、集合体 1 本に何ぼキャプセルを入れることができるかという制限を今回設けてございます。わかりますコンパートメントに打ち出しているか、1 個ボンとまとめるかっというのをまず決めてないというか、
1:31:22	セグメント試運用今柔軟にするために今後のその都度、目標に応じて、日を変更するといったことも考えられますのでそこは制限を設けずにあくまでも集合体の中で、6 本という制限。
1:31:36	のみを制限しております。これ関連して、7 ページをよく見ながら、やっぱりおなじこと思ってたんですよ。7 ページ見ると、これがまずあるわけなんですよ。
1:31:47	だから真ん中に入れないのかなど。いろんな違ってるしって思って、2 掛ける 6 で 0.1 になるから、そういう感じかなと思ったんですけどそれでもないわけだね。はい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:31:59	一つのコンパートメントに縦にその四つとかね、なるべくこともできるわけなんですよね。そうなんだ。別府うん。船津合田がございますので。
1:32:14	現状で1というのは、建設資金あくまでも集合体の中で、何個入れるかっていうものだけを制限すると。わかりました。ありがとうございます。自分の図みたいな形なんですけど、こういう縦に局長が並んでてっていうことです。
1:32:30	そうすればこの図自体は、材料反射よ、材料照射反射体ですね時、若干の形状とは違いますが、イメージとしてはこのような縦に並べることもあり得るということで、
1:32:48	ちょっと戻っちゃいますけど7ページのこの七つありますけど、これ、真ん中に入れることができるんですね、何かを7真ん中のやつは、
1:32:58	何だろう。
1:33:00	コンパートメント1じゃないってわけじゃないんですね。そうですねすみません前田さん、どうぞ。吉尾局長の青井です。この度いろいろ左に問い合わせさせていただきますので、コンパートメントマンションですね。はい。橋口。
1:33:19	あとはどれくらい照射したいかね。内川乗せるのかとかそんな問題がちょっとね、そここだけ説明がないんですけど、何か
1:33:30	古いものについては、対象とするものによって若干探しこれちょっと、穀物自体は材料照射用は車体のものを流用してしまったので、中に多重に、
1:33:45	黒い線があるんですけども、中についてはこの右の図にあります。
1:33:52	どうぞ、このうちの方が、この一番細いところ、その下とか、この辺になっておまして、このスリーブ等も含めたのでちょっとこの図では、目の、
1:34:07	引き下がって、してやっちゃってしておりますが主に、コンパートメントの中はもう次作成が一つ入っているっていうイメージにさせていただき、終わっていただくのがまだ時間あるからそうです。
1:34:22	そう。そこは修正いたします。
1:34:28	なんですけど、この資料ホルダーはこの赤なのかグレーなのか、資料がなかなかよくわかんないんですけど、何が何なのかと思う。
1:34:40	はい。
1:34:40	はい。ところが、C両方でこの赤字のところは照射物という認識で合ってますよ。金村さん、すみません。
1:34:50	資料が、ここで赤川越智さん商社。
1:35:01	はい。この辺りの設計については施設工認段階の方でちょっと現在まだ確定はしていないのですが、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:13	照射講座になっておりましてこの赤いものが、照射最初の照射物ですね、フリーズする宇井委員がこの上の負担になってます。ちょっと担当にいろいろ問題ですけども、
1:35:32	そういうすぐ入る文字式の負担になってます。旧スペース植草技術主査、西部浅井リースはスペーサーみたいな形です。
1:35:46	いいでしょうか。
1:35:47	ねじ込み式のふただった福井委員は、ちょっと書き直し、そうですね。キャプセルって言葉じゃキャプセル。
1:36:03	今ここで書いてあるずっと実技を部分と、はい、そう黄色的に、
1:36:12	白い部分っていうんですかね、そのある溶接分をするというイメージですね、ちょっとあれは水温に修正させていただきます。
1:36:22	そうですね、ちょうどここで資料の話が出てきたんで、こういう資料自体は何だろう、答え文で答えなんですか、液体なんですか。教習機構の前にやっています。
1:36:37	うん。うん。本来答えてることはいい。そこら辺、その制限みたいな資料ん中で来た伊井自体はちょっと。
1:36:53	わかんないと、化学組成については、現在、
1:36:57	検討を進めているので、その辺りも含めて何もないっていうのを入力っていうところで西縁まで、
1:37:08	確認して、そこまでしてもらった方がいいのに対して、やっぱりナトリウムが周りにあるんだっていうところで、
1:37:19	そこら辺はね、細かせしますけど、大抵申請書には書いてある、ない。
1:37:26	他には書いていなかった記憶がありますで書いていない。ただ、溶融温度を開花という設定がございましたのでそこで、なかなか紙に読むことができるが直接的には記載してございませんでした。ございます。
1:37:42	そうですね。
1:37:43	それ以外のことを考えたことがない。そうですね。っていうのある、あると思いますよ。これぐらい上じゃないかもしれないですけど。いや、いやよ。種田。
1:38:00	今、今日恩田思い出せないんですけど、3、
1:38:05	すいません。いえ、今はすみません、原子力の場合です約0ぐらいですね。
1:38:17	調べているわけそのマイクを使ってみて、割れてるんです。
1:38:22	言われてます。
1:38:27	いかがですか。はい。東條委員。
1:38:31	はい。21 ページ。
1:38:35	100ぐらいまで大丈夫でしょ。はい。これ、物理的に入るんですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:40	物理的には、普通のちょっとこの計算においては、カプセルの細かなものを設定しておりませんので単純に集合体のところに 200 グラムを入れたという計算に、
1:38:54	いや、だから陸の構造ですね。
1:39:01	そうっすね。そうですね。SCC数シートでも入ります。例えば、
1:39:17	若菜所は直接は全然ありませんでした。
1:39:23	そうですね、容量として、実際にキャプセルに量を入れた状態で、この今回許可、
1:39:35	をいただくように提示している設計で 400 グラムグラム入ってちょっと今即答はできないのですが、キャピタル能勢工場等を無視した場合は、400 グラム等に入る。
1:39:48	多分、多分範囲という、あります。
1:39:57	これは全部反応度ってのはどういう、
1:40:00	吸収するんすか、九州、九州ですね、主に九州が、それ以外の上回っています。だと記憶しておりますので、総合的に見ましょうマイナス方向に、
1:40:16	この辺りって何か各データっていうのは、あれ、ちゃんとしてもそろってる。この計算においては全部IV要しておりますので。はい。
1:40:28	そうですね。はい減少機構の前田です 03.2 のセットに入っていないので、についてだけ、今回ちょっと遠藤の方を使って、
1:40:40	差分を見るという形にしております。10 月にはデータが入っておりますので、計算のデータとしてはそろっているという認識です。はい、わかりました。ロシアの。
1:40:52	張りかえた通り、九州は、メインという形になりますので、
1:40:58	F。
1:40:59	の方向性としては負になるという形ですね。終わります。
1:41:07	0.8 ぐらいしかじゃないので、これは極端にはこれを入れたらこう振れるよっていう。いや、これありがたくて。イメージだけでお願いしようと。確かに。
1:41:27	それから 19 ページは、わかりづらかったんです。
1:41:32	27 年、合計 9 と深井さんて、明日数字が 6 人ですよね。研究員、その数字を達する時間と思ったんですけど。
1:41:44	根井
1:41:47	この 19 ページだけなんでこれ、
1:41:49	よくわかんないです。
1:41:51	まず、大門さん、サービスやってくれたったつけ。北井くんだよ。はい。北井です。摘採が生じて、
1:42:00	これが 1 月の法律管理目標でどうのこうのと比較して、緊急改造という結論があつてちょっとね、このページだけではないです。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:42:13	これどうするかと悩んだんですけどね。そもそもキャプセル壊す気がない。
1:42:18	もう影響ありませんなんですけど、万が一壊れたとしてもどうですか、っていう話が出るかなと思うんです。
1:42:28	でも15条ですもんね、いやそもそもちっちゃいって。
1:42:33	いわゆる普通の希ガスの放出管理目標値って、貯留タンクに入れた分とバイパス出てきたのが出してるので、
1:42:41	そうした貯留タンクにはなりえないので、
1:42:44	そうすつともうバイパス分と比較するしかないかなってことで、
1:42:48	それからそこからもうちょっと考えてございます。今回、もう少し、6.2の内訳を書いた上でバイパスだけ使っても0.15%対応っていう言い方にした方がいいと思います。わかりやすいです。
1:43:06	もう1方。
1:43:08	デパートのつくり方とかいろいろあるんですか。現時点では、まだ詳細なものはありませんが、今後もRIAさんが続けていく中で核種等をふやすことも計画されておりますので、その際には、
1:43:22	2型3型とふやしていく予定ですので、今回このような構成としております理由をまず最初の制限値を設ける最初の単位をキャプセルとしてございますので、それぞれの各特性等に合わせた制限を、
1:43:35	受けますようにどこにカプセルを識別して、
1:43:40	申請書に記載しております。
1:43:47	はい。
1:43:53	えーと、
1:44:02	宮村さんになるかようわからんですけど。
1:44:07	移送機自体は、磯線、燃料ね、燃料洗浄設備から上がってきたものを次へと缶詰関数に、入れるんですけども燃料洗浄設備の隣、レベル0と同じレベルに隣に、缶詰缶装置がありますので、麻生上に上げて改善した。
1:44:27	落としてあげるって何もありません。これあれ改訂すべきところにプロがついてもともと崩壊熱。
1:44:35	それは今回もう、でもないし、かつ使うっていう話。そうです。はい、わかりました。
1:44:46	缶詰缶装置もちょっと書いてあっているんですか。麻生処理しましたもん。
1:44:57	そうするとこの燃料性の措置を取りにあるんですね。
1:45:02	洗浄設備、今書いて掃気の下にあるんですよ。
1:45:11	はい。
1:45:13	完全にはしないけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:24	安定、急ぎ自体は下の図でいくと燃料集合体缶詰装置は一部、うん。
1:45:43	清根井せっかくこの下のフローには、缶詰缶装置って書いてあるから、ここでちゃんと言ってあげましょうか、書いて掃気は。
1:45:55	感じめ装置ですよねの状態は、こっちの一部ってそうですよね。あった。
1:46:07	どうなっていました。
1:46:09	なるほど。上か下のフローで分析装置の一部と言われてもね。うん。これぐらいずっと一緒の中で缶詰装置がなかったりするの、
1:46:20	今回入れてもらいますけど、外れ装置っていうそううん。我々素人なんですね、ちょっと理解できないですね。そうしない。
1:46:33	多分、
1:46:46	なんだけど、もう
1:46:47	アウェイ生産用、ヒアリングの時に繋がる、アライ陰性客制度とかって書いてあるんだけど、事業総貨物とのね、比較をしておいた方が、
1:47:00	判断しやすいだろうと思うんで、ちょっとその全体的にスリーマイル材料だとかですね、今日、
1:47:11	ちゃんと説明資料にしておいた方が、理解を変えれば、
1:47:17	事業所が打つと比べて中の反応度の判断とか材料的にはどうなるかっていうのが判断しやすい、他の実験線自体の清掃、了解。
1:47:31	代表的な事業計画書の方が理解しやすいのか難しいかもしれませんが、実験用装置って、もう少しふわっとしてください。
1:47:46	ちょっとふわっとして。うん。今回、青井清さん呼ぶの実験装置は、もうこれと決めて、きちっとやった方がいいって話をして、逆に言うと数字を決めますよ。2でしよ試験装置は、
1:47:59	独身都市圏に影響を及ぼさない範囲でっていうんで、ずっと決めて設工認の時に細かくやるようなイメージになってるので、都市活動。
1:48:10	今回、照射燃料集合体に近いイメージで、厳しくしてるっていうイメージなので、比較すると、小実験装置はちょっと緩く見えるっていうか、
1:48:21	あんまり対象にならないかもしれないですねちょ、ちょっとその不安はあります。100円ちょっとやってますけど、ちょっと逆にちょっと、うん。なんかふわっとしちゃう可能性もある。ちょっとそこは考えさせてください。材料なんかはね適切って書いてあるけど。黒瀬。
1:48:40	多分笹市野って書いてあるけど、人権総合物って何だったっけな、っていうようなものがちょっと気になると思うんだけど、実験値を実験装置のはもっとゆるいですよ。やっぱね、その関連で言うと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:53	21 ページね、今回全部まで使ってまわしてもらって反応度が入るかってじゃないですか。こっからね、その材料賞さあ米津についても、
1:49:05	やってるのかなと思ってしまったんですよ。
1:49:08	やってないんだよ。そしたらね、反応度が入るかっていう、この材料だったら、いや、関係ないと思うんですけど、もう。
1:49:22	なんで、そういう意味で最終的な炉心構成の、うん。評価、うまく今作業施設工認になっていて、今許可上標準平衡炉心っていうのを作って、
1:49:33	ほぼ見て評価しているのが、その幅の中で収まるように、いろいろ制限してるっていうところで、礼節公認で、真ん中にちゃんと収まってるよねっていうのを管理して、
1:49:45	そういう意味で、そのやり方自体はそんなに変わらなくて、ただ今回はもうそもそも入れ替えたところで、はい。こんなもんだってこんなもんだったんですよ。だから制限の仕方としては、
1:50:00	これ実験設備を入れたとしても、過剰反応度は、例えば 0.10 竹井半径ぐらいにしか、
1:50:10	入らないようにします。それぐらいの制限をかけて。うん。或いは、炉心としての制限今混乱はない。0350。
1:50:19	こんなゼロ採用なんですか。うち全体として、炉心全体ですけど、その数字は変えない、変えないんですね。
1:50:33	この 3 号の考え方としては、過剰反応度何が中身になってくるんですか。大友学びというか、そもそもの決定は、
1:50:43	以上 60 日間、そのときに必要な燃料の反応度はこうです。そのときに、一応 100 ドルでコンマ 3 本なんですけど。
1:50:56	ジャンボリー、
1:50:58	さ全部何だ本当に、
1:51:03	ほんで、ここまで逃げたからとこうこれ入れたからどうこうっていう制限は、
1:51:09	んなんで、その方針の
1:51:12	有無と特性として、この範囲を決めてあって、その範囲に収まるようにして組むと。
1:51:22	わかりました。わかりました。その考え方には影響しませんっていうかそんな考え方変えるつもりはないので、その範囲の中でやります、やらせていただきました。そうですね。
1:51:34	うん。そうでしょう。はい。湿分三つぐらいかなと思ったけど、別に。
1:51:51	少々実験装置とRI生産や実験装置があるんだけど、これについては距離構造物でも一緒に、そのキャプセルが違うん当初出席して欲しい。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:52:06	そうなんだよね。食べるものが違うっていう感じがするんですよ。ちょっと構造が若干そういう強いでしょ。一応、照射燃料集合体の
1:52:26	照射条件装置は、中身伝票等も入れることができるんです。資料として、
1:52:46	アライの実験装置は、いや、
1:52:57	トイレしかない。
1:53:05	いや、いや、
1:53:14	恥ずかしいからあんまりちょっと、
1:53:33	11 ページ。
1:53:46	2 億円の増、検定の変更案というのは、
1:53:54	常陽はアメリカは、そうですね。今のところは、それは影響があるとは考えられてはおりません。
1:54:06	僕ですね、可能性としても今考えてもうないですよ。そうです。荒尾飯塚やるでしょ。
1:54:20	残念ですけど、だけどまた一番後ろに並んでいただくしかないんですけどね。
1:54:30	今年度から製作始めるっていうことなので、
1:54:38	本人の場合にもしちゃう。
1:54:44	承認いただいてから、制作を始めますので少しタイトな工程に、25 年度、
1:54:59	2025 年度から製作を開始いたします。
1:55:15	のところ、一番下の案内計算で破損が生じて、
1:55:29	カトウ売却しておりますことないっていうふうに書かれてるんですけど。
1:55:36	キャプセルに破損が生じて大丈夫ですって思えないんです。各セル自体が破損した場合によって外側のコンパートメントで受けとめる仕様になっておりますので、そのカプセルに異常があって、例えば志田部長が発生した。
1:55:51	場合によっては今般の中でお認め、良い温度以下に設定しているので、そもそも解けないので、壊れたところで、何かこうバラバラと出てくるものはありませんって言うわけなんで、
1:56:06	今は総務課長さんはね、うん。
1:56:16	多分僕の対応方針だけじゃあ審査できないので、多分この 1 個 1 個について、いや、これは全体概要で、この後の展開があって、そうですね。多分、我々としては、
1:56:30	なんだろう最初例えばだからキャプセルの健全性の話だとかですね、その辺あたりから入って、炉心の話して、
1:56:38	大体論点が多分、最初の、
1:56:45	会合で、
1:56:47	すり合わせなきゃいけない部分、論点をここに挙げた情報でいいよね。いうところかなあというので。はい。そうですね。うん。だからそれはそっちだけでもまた、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:01	すいません十分しません。うん。考えて、それやめてしまうと、情報に対して我々説明してください。うん。
1:57:25	11 ページの、RIの使用規格の関係なんですけども、RIの使用許可ってのはこれから取るんですけども、これからすればですね。
1:57:35	常陽として取ってまた、
1:57:41	この時期って1度考え、
1:57:44	大宮委員。はい。原子力機構の前田です。一応申請は上は早ければ出したいと思っ ていて、ちょっとタイミングは、
1:57:56	検討中なんですけどもFMFの方は変更内容が非常に大きくて、これが来年度の第下期 ですね。
1:58:05	下期を予定をしたいと思って、今作業中です。
1:58:11	ございます。変更の時間。
1:58:18	それじゃささげる質問行っただけ、44 ページ。
1:58:26	4 ページ。
1:58:30	同様の事項で活用するということで入ってですね。どうぞ。ありがとうございます。は い。すいませんいろいろですね、実現するつもりですか。猪狩実行。
1:58:46	測定結果の何か、戻ってきません。評価委員作りません構造物燃料を考えてるみた いですので、もし常陽で照射するとしたら出荷物の形で、キャプセルほど
1:59:04	ですね、それはそういうわけじゃない。はい。
1:59:10	ですのであくまでも今日会員いただいて、この意図としては現在の所の設備を活用 して、加速器に貢献できる研究を実施するっていうのが意図できましてこれ一によっ て例えば加速器をつける。
1:59:24	大体わかりました。ありがとうございます。まだ具体的に照射してるっていう状況でご ざいます。
1:59:38	補足そういう使い方をちゃんと言っていました。
1:59:47	うーん。
1:59:51	条文でいいですよっていうのが、そのスタートの審査会合だって話だったんですけ ど。
2:00:00	ちょっと事実関係だけね、確認しておきたいなと思ってるのは、
2:00:05	44 条、44 条は、燃料の話なんですよ。
2:00:13	この照射物をこう出ししたりするというふうに使えますっていうことなんですけど、使う と思うんですけど。
2:00:23	ここで語る話なのかなって僕は思ったんです 40 以上。
2:00:28	これ、過去に実験設備とか許可取られてますけど、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:00:35	院長四条でやってます。
2:00:38	44条自体は、宮前根井、黒澤ってなくて。うん。いや、この間の史跡、はい。うん。
2:00:50	多分久々に触ったぐらいですね、漢字のね、昔のままだと思うんですよね。結局炉心構成要素を取り扱うという観点で、
2:01:01	もともと許可もらってるんで今回入れたのが、
2:01:06	うん。一方通行なんです。はい。
2:01:15	通行の原発の分に対して、逆走する使いとかないと。
2:01:21	まずいよねってところからスタートしてるんですけど、それでは乾燥機のところですよ。ただ、44条としては、燃料取扱ないので、該当する状態です。当委員会になっちゃいけないとか、ないですよ。そうそう。
2:01:41	そうすると、44条としては施設の変更がないから、もっと、私は、結果としては今回あえて入れましたけど、審査対象としては、
2:01:51	除外されると正直思ってます。僕はね、もっと違うところで読めるんじゃないかなって思ったりするんですよ。
2:02:04	あんまりその言うところがないんですけどね、実験設備ですから、
2:02:12	現物配当というんですか。そうだね。これは定義していて、先生、庄子清水です。そうなんです。そう。そう。
2:02:26	フリー装置を使うのであれば、44条に該当する情報はないです。そうなんです。逆に茂木会社として見ればしょうがないんで。
2:02:42	東京設置許可として、逆走することが、やはり話し合っ、判断だけのみを条文適合性という観点では審査ポイントがない。
2:02:55	そうなんです。うまく見るところが。そう。ふうん。
2:03:02	読めないんですよ。そうですか。試験用燃料実験物ということで、材料も材料だって鳥井使ってあって、
2:03:23	これはそうじゃないんですけど、許可としては、新構成要素使う構成要素っていうのは、基本ドライバーの中に
2:03:43	違うだけで運行生殖やねってところを見てもらった上で、それじゃいいよっていう許可をもらっているんで、審査はいただいているものと思ってるんですけど。
2:03:53	うん。そういう規則上の行政って観点でいくと、本当見るところはなくて、ただだからそういう運用するんだよねってものに対して、
2:04:03	ちょっと外側から見てくれ、出てくる。
2:04:07	解釈、等が、
2:04:17	使いやすく、基準にしていけばいいんだという話なので、解釈なりでね、入れるってというのは一つの手ですよ。基準自体を変えてもいいような気がするし。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:31	ふうん。そう。それ、僕はちょっとね、読んでって思ったのはやっぱり 29 条して、放射線防護の話をしてるんですよ。
2:04:44	結局はね、何人、やらなきゃならないかっていうと、
2:04:50	放射線に対する話なんですよ。はい。扱ってる物自体が、何か核燃料物質で、フィッション起こすような話でもないし、
2:05:03	だったら、放射性のところに対応する。それから 29 条の何号だったか忘れちゃいましたけど、そこでうまく読んでいくっていうのが、
2:05:17	基準をこういうふうん。
2:05:22	やり方なのかなっていう気はするんですよ。だけどね一方で、次、
2:05:29	燃料と同じような取り扱いしてると、40 で見ましようっていうのもありだと思っんですよ。うん。ね取り組んだよね。佐々委員。
2:05:42	だけどね。
2:05:43	基準だと確実に見えない。
2:05:46	ないんですよ。うん。そういうものが、29 条、十九条からんと引っ張って、情報の規則性行政っていう観点で議論しようと思っんです。実験装置から言わせないと駄目ですよ。
2:06:13	ちょっとそんな話もできればところですかねえ、介護でねえ。
2:06:20	もう介護の場でやった方がいいでしょ。うん。
2:06:28	うん。ちょっと突っ込み過ぎちゃいましたね。だけど事実関係という意味でね。
2:06:34	実験設備って、これまでもう評価は取ってるから、どうしてんのかなって思ったんですけどね。そこら辺をもう少し教えてもらっていいですか。介護までに。
2:06:45	これ、実態としてね、実験設備の許可のときに、そういうハンドリングみたいな話はどこで、
2:06:55	見てたかっていうのね、事実関係として、いや実験装置の追加の時は判断が見てないですな。
2:07:02	まず、この新構成要素として追加したので、それを年度 2 そっち変わらないので、その逆走するっていうことにおいて、
2:07:12	今回、逆走させなければ、
2:07:20	基本的には、一番最初の頃は実験装置の時にね、実験装置の通り取り扱いをどうしたらそうになっちゃうんだろうとそうですよね。あそこは 29 週っていうか今で言うと 29 人で、
2:07:33	実験相馬当時の趣旨です。に対して、見てない。
2:07:39	業務運営方針に影響ない分は炉心に影響を対応します、しないようにしますという制限を設けたので、うんという今までどこの 32 条にも該当しないね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:07:51	読んで、
2:07:53	私は許可いただいているんですか。
2:07:56	その辺がモニターの流れ、29条としてOKであれば、32条にも影響を与えない49条にそうなんだよね。47条にも影響与えません。
2:08:09	うーん。内容になると思う。それ全然いいと思うんですよ。29条でね壊れてもう反応度入れるな、入ってもいいかもしれないけど、そういう基準になってるじゃない。父ちゃん僕で僕は嫌だって全然違うんですけど。
2:08:24	うん。それはそれでね、29条で整理をして、30何条とか、炉心周りの話は、ここでも評価してある通りなので、
2:08:35	強いにつれていけばそうなんだと。でもあるんだけど、そんなずっと想定して、すいません資料は準備しています。あります。いずれにしても作り変えになっちゃいますけど。
2:08:47	最初に、
2:08:49	どうしたのか、審査何したのかって言うのを、ちょっと事実関係として教えてもらっていいですか。当時ですね、当時、反応度の話もそうだし。
2:09:02	僕は、その被ばくの話、放射線の話っていうのも、
2:09:07	写真もまだ入ってたような気がするんですよ。
2:09:10	そのままですべて実験装置のときは、中に核燃料物質入れるっていう話をしてたので、結局本数精製制限すると。うん。出てくる量がさっきの安い所ですけど。
2:09:27	勉強の定めるところも1%未満なので、被ばく上は影響与えませんっていう、そんなもんなんだ。
2:09:37	基準に関する要請をして、一般の啼泣の数字は変わらない範囲で試験しますっていうのが、被ばく評価上の制約発想で炉心上の制約として炉心特性に影響与えません。
2:09:52	それで失格と大体量が絞られてくるので、
2:09:56	実験装置はそこで止まっていて、建設工認で細かくは確認しましょうか。ただ今回は、ちょっとそれだとゆるいので上というか、議論が広がっちゃうので、我々としても、
2:10:09	今回ちょっとスケジュールを与えたものもあるので、ピンと決めて、要はそんな条件だったら大丈夫だねっていうのを確認してもらってという、いう形にしたので、
2:10:19	以前よりも、照射実験装置最寄りの条件がきちっと決まっていて、0.2、0.2グラムというようであれば、方針に当たります、放射線関係も影響しませんというのが、
2:10:31	バシッと決まって、なるほど議論が少ないだろうなと思っていると。うん。
2:10:46	もちろんそうです。逆に2、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:10:53	需給物やなんかについてね、もう十分上以降、ナトリウムに対する規制吸収だったというか、などにも対応でき、規制が厳しくなってきたからね。
2:11:06	全部を使ってきているのかな。それでなおかつ、面取り装置のところなんかを変更すると、扱いを変更するっていうことだね、それはそっちの、そっちの方の目で見るとかなと思ったん。
2:11:21	過去にそういうふうに見られたら、わかんないですよ。なかなかね、さっきおっしゃったな、燃料自体は逆走しないですよ。
2:11:36	これ変なんだよ、もう。いや、いやいやいや、いや、特に安齊先生、製造するから除却損。それをする設備に移行するってことなんで。
2:11:53	そこの燃料を逆算するんじゃないですよ。そんで出るんだからそうそういう約束じゃ。そう。
2:12:00	わかりました。ちょっと議論しましょうよ。それがね、条文なんてね、所詮。
2:12:12	おかしかったら直せばいい話で、美馬宮本の話は田頭さんですので、実質的になるほど逆走しても大丈夫なんだよねっていう確認を当然ですしてもらえればという。
2:12:26	新しい。
2:12:34	はい。はい、わかりました。すみません。ちょっと教えていただきたい。すみません。25 ページの高齢計画のところなんですけれども。
2:12:48	25 年から 26 年度半ばまで、皆さん専門家になっていて、これらの検査まで含んでいるそういう人間が経営会議ですかね。
2:12:58	そのあとの照射っていうのは、あんまり大河内計画で、その実際使う段階のことを練ひいてるので、見た例が少なくて、意図があれば確認したいなと思ったんですけれども。
2:13:11	うちは結構返ってない。これまで照射燃料集合体とか、追加した時には、こっから使い出しますっていうところに、
2:13:22	消費者はって 5 という、なるほど、これは下の施設の結構微妙なそうですね、こういう感覚としては、28 年度末がで切れてるのは何かに変わるかという、その数字を使ってきますっていう。
2:13:41	以上です。
2:13:47	こちらちょっと私が言う話で、1045 ページの見方を説明させていただきたくて。
2:13:55	98%が今回の申請、少なくとも 0 と考えているところだということだと思いますけれども。
2:14:06	実際その辺機構があって

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:14:10	適合性の説明をしなければいけないと思っているのがすべてなのか、或いはその変更があるんだけど、その既存の設計からに影響しない。
2:14:23	という説明ではないと思っているものも含まれるのかってちょっと仕分けがあるのかを確認したいなと思ひまして。
2:14:31	すんではさっき今議論になって 4040 年だけは、既存の施設に変更はないけども、その運用を触っているんで、その運用については電発に書かれているので、
2:14:43	やはりっていう形にこの表上は書けませんので、
2:14:48	先ほどの話ですけども、新CMC3 の資料、結果として、
2:14:54	ちゃんと入るのは谷中のかっていう判断がこれからあるかなと思って言ってるんですかね。吉川中瀬、どうぞ。
2:15:05	圧倒的に利用者のお話で、ハード上ではないですか。
2:15:11	一応一通りを説明するつもりで、
2:15:14	用意してるんでただまあ、地震なんかは別にこれSクラスで制限するだけの話なんだよね。
2:15:21	そんなものも入ってますけど、一応、審査の対象だというふうに思いますということですね。それと支援接種的には当然、テンプが対応する記載がされていて、説明が必要と思っている情報に関しては
2:15:41	基準をされていてそれに対する予定表の考え方を立てられてるっていう理解です。伊東君のお話で言うと、13 条のカトウ 15 なんていうのは、
2:15:51	結果的にはね、おさまってるっていう話だよなだからこの辺は少し、
2:15:58	説明した人があるような気がするね。うん。そういうことがあるか。そうそう。そうですよね。うん。
2:16:08	そう意味ではこれはだからその前のページですね、14、10 山頂 20 とかあるんですけども、その中でちょっと前のページ出してくれ。
2:16:19	13 ページの中で、現状は何か。
2:16:23	ここのやつですね、症状の方針のプレスに並行しないで、
2:16:28	いう話をさせていただいてるので、13 条の対象にしたですよっていうイメージですね。全部流れていくと、ここでこの施策 13 条入れてません。
2:16:42	多分それは 32 条説明すると、標準平衡炉心変わらないんだなっていうのがわかると、そのまんま 13 条も当然変わらないって話になるのかなと思います。
2:16:54	その審査書がないことの考えの中に繋がるので、不要なところは不要の理由をしっかりとやってます。
2:17:13	25 ページ
2:17:19	の表のところ、年度ごとの展開があるんですけども、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:17:24	6 ページのアクションプランだと 2026 年度までに、常陽で製造実証であってこれ、
2:17:34	それは合っていても、201 書写は、以降、複数回の照射のことを示していますので、とは、一番最初の商社は、
2:17:45	2026 年以内に実施いたしまして、元初回の商社でられたもので、以降の処理等を実施をしていくという、東原子力機構の前野です。先ほどこちらの方ですから説明があった通り 26 年度から、
2:18:05	使い始めますと、
2:18:07	移行を使い続けますという意味合いで照射し続けるというのではなくてですね、今言った通り 26 年度に照射開始して
2:18:18	そんなふうに分けて何か出して開く中できてるかなっていうのを見て、それをもって製造事象をしようと、そういう今計画でございます。
2:18:31	この製造実証にちょっと絡んでくるんですけども。
2:18:35	5 ページの使用目的のことでお伺いしたいんですが、
2:18:39	今回、放射性同位元素の生産ということを使用目的に追加されているんですけども、新設の変更の理由の方ですと、放射性同位元素の生産その他研究開発であって生産量の研究開発の実証試験なんかだと思っております。そういった、
2:18:56	感じなのかなと思って。
2:18:58	すいません。鳥居宇津系のところの説明といたしましては、放射性同位元素とその他研究開発というこの読み方としてはほうれん草の生産というものと、その他の研究開発に使用するという、
2:19:14	意味合いでございましてこのその他がどこにかかっているかというのがその直前の生産ではなく、放射性同位元素の生産という全体の施設に、の後に、その他の研究開発というふうな記載。
2:19:29	使っていますその他研究開発と言った場合はその人工で得出した放射性同位元素の生産というものを除いたその他の研究開発という読み方になりますので、
2:19:41	はい。
2:19:43	ありましてその読み方はそのようになっています。これ見ましょう。
2:19:49	なぜその研究開発型に当たるかといいますと、一般研究と材料照射に当たるという解釈になっております。
2:20:00	そうなんだね。その他もじゃない。
2:20:12	生産っていうのは、もう地震があって、そう、地震おそらくできるだろうなという判断はもちろんあって、社長と思います。
2:20:27	庁舎上も間違いなくですけども。
2:20:32	議会人というふういきちと出して、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:20:35	そっからきちっとそれ出せるかもしれないと思うんです。
2:20:39	放射性同位元素の生産っていうのは、実証試験がやはりを考えたものなのか、それともその後も、実際に継続的供給とかそういったものを考えました。
2:20:51	含めて、生産をしておりますので、ずとも、最初の読み方のところでこれ、もう生産放射性同位元素の生産移行実験や、大量製造等何も問わず、放射性同位元素の生産。
2:21:07	をするっていうただその1点ではありますよとしました。
2:21:17	あともう1点なんですけど使用の目的のところ、一般研究と材料照射というのを今回付け加えているんですけども。
2:21:26	高速増殖炉の開発ってことで、入賞者とかやってきたと思うんですけどそれには含まれないってことで一般研究材料照射というのはそうですね何を主に見通しているかという、例えばSaaS316を照射するといった、これはあくまでも例なんですけどそういった場合に、
2:21:41	これは高速材料として照射できるけど、これは軽水炉年の構造材として考えて、その境界上できることをな、同じようなものに対して、目的が違うからできないというのを避けるといいますかそれをすべてできるようにするために今回材料照射っていうのを、
2:22:00	設けまして、なのでそれは高速炉サイドについては従前の通り、高速増殖炉が開発の方で、もう実施して決め込んでんですけどそれ以外の衛藤滝野は高速炉以外の現象材料や一般材料宇宙材料等にと、
2:22:16	照射をすることを主に考えて材料照射っていうのを加えていまして、一般研究っていうのを足したのも、ADSが原子力っていうそういう想定もありまして、そのADSをどういう区分にするかっていうのを考えたときに、
2:22:30	そういう、その式も、目的を理由としてできなくてっていう問題を発生させないために今回一般研究っていうのを追加いたしましたで、記載のにつきましてはJ-RⅢと原研で、
2:22:45	いただいた許可に準じた記載となっております。
2:22:50	こういった記載を書いている。違うんですか。
2:22:53	それがあんですけどJRRシート等およそ原価県のJRRシリーズの原子炉についてはほぼ同等の記載となって、
2:23:03	おりますこのようなやつはちょっと多少人材育は各現象にて違いはあるんですけども、おおよそに多様な記載になっております。
2:23:13	さらにNDS具志堅って、ちょっとよくわかってなくて申し訳ないんですけど、どんなものが中に入るんですか。先ほど山本課長からおっしゃったように地区別燃料とか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:23:25	今、想定はしていますが今後、何を想定するかっていうのもその研究開発の種の進展によっては、変わってくるかとは思いますが。
2:23:37	この1本研究とか材料照射っていうのをを行うための装置っていうのは、校舎生産量実験装置を使う。
2:23:47	照射用実験装置であつたり図書、材料、
2:23:51	社会を使うであつたり今までいただいている許可の範囲内で従来、高速増殖炉以外の開発を実施するという想定でございます。
2:24:05	ですので今まで許可いただいているものに関してはデータの正しい加工が良い。そうです。はみ出ない範囲でやります。
2:24:16	だから、そういう入口を制限する必要はないですねっていうのはだから、それはこのガイドもありますので、こう書かれて、条文的にはこれが32条で、
2:24:27	標準業務できるんですかというのは、またよろしく願います。今田です。
2:24:43	続きました。
2:24:47	他にはいかがでしょうか。
2:24:50	もう1個だけ、端的に6000万円かかりますって書いてますけど。
2:24:55	これは、実験、
2:25:00	実験設備、実験装置、
2:25:03	これ何台分なんですか。
2:25:07	へえ。
2:25:09	7ページ見てもらうと、これ1個ってこと。
2:25:13	てるんですか。
2:25:15	わかりました。はい、了解です。ありがとうございます。
2:25:23	バイトが作ります。
2:25:29	時間も、
2:25:33	こちらからは結構です。城側から何かございますでしょうか。ちょっともう少し直し修正修正して、もう一度当時ですね。
2:25:47	それでは、本日のヒアリングを終了いたします。ありがとうございました。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。